

平成30年度 業務収支状況報告書

(単位：円)

区分	項目	金額	内 訳
収入	施設利用料金収入	18,921,724	施設使用料、自販機使用料、自販機電気代等雑収入
	寄付金収入	0	
	高齢者大学受講料	1,318,000	
	指定管理料	96,297,000	
	その他収入	0	
	合 計	116,536,724	
支出	人件費	68,171,790	職員給与・手当・通勤旅費・福利厚生費等
	維持管理費	48,364,934	
	光熱水費	9,331,681	電気・ガス・水道
	燃料費	1,681,102	ガソリン等
	印刷費	261,368	
	修繕費	11,074,540	
	消耗品費	1,493,345	
	報償費	49,500	講師謝金
	旅費交通費	213,378	職員旅費、講師旅費
	役務費	1,649,319	通信費・郵送費・保険料等
	委託費	13,648,740	清掃・機械警備・一般廃棄物処理・各種保守点検等
	使用料賃借料	2,181,509	複写機・会計システム・公用車リース等
	消耗什器備品	1,306,800	
	負担金	280,460	各種研修費用、春のフェスティバル助成金
租税公課	5,193,192		
合 計	116,536,724		
当期収支差額		0	

令和元年度 業務収支状況報告書

(単位：円)

区分	項目	金額	内 訳
収入	施設利用料金収入	17,430,238	施設使用料、自販機使用料、自販機電気代等雑収入
	寄付金収入	0	
	高齢者大学受講料	1,318,000	
	指定管理料	92,578,000	
	その他収入	0	
	合 計	111,326,238	
支出	人件費	68,600,088	職員給与・手当・通勤旅費・福利厚生費等
	維持管理費	42,726,150	
	光熱水費	10,503,298	電気・ガス・水道
	燃料費	154,740	ガソリン等
	印刷費	685,041	
	修繕費	3,161,818	
	消耗品費	605,173	
	広告宣伝費	249,960	
	報償費	43,000	講師謝金
	旅費交通費	169,347	職員旅費、講師旅費
	役務費	1,753,553	通信費・郵送費・保険料等
	委託費	14,226,472	清掃・機械警備・一般廃棄物処理・各種保守点検等
	使用料賃借料	2,517,331	複写機・会計システム・公用車リース等
	消耗什器備品	2,430,000	
	負担金	286,460	各種研修費用、春のフェスティバル助成金
	租税公課	5,939,957	
合 計	111,326,238		
当期収支差額		0	

令和2年度 業務収支状況報告書

(単位：円)

区分	項目	金額	内 訳
収入	施設利用料金収入	3,698,684	施設使用料、自販機使用料、自販機電気代等雑収入
	寄付金収入	0	
	高齢者大学受講料	1,318,000	
	指定管理料	122,553,120	
	その他収入	0	
	合 計	127,569,804	
支出	人件費	69,410,328	職員給与・手当・通勤旅費・福利厚生費等
	維持管理費	58,159,476	
	光熱水費	7,827,655	電気・ガス・水道
	燃料費	435,450	ガソリン等
	印刷費	107,825	
	修繕費	20,090,708	
	消耗品費	2,304,520	
	報償費	69,500	講師謝金
	旅費交通費	128,976	職員旅費、講師旅費
	役務費	1,740,245	通信費・郵送費・保険料等
	委託費	13,983,284	清掃・機械警備・一般廃棄物処理・各種保守点検等
	使用料賃借料	1,914,245	複写機・会計システム・公用車リース等
	消耗什器備品	2,792,357	
	負担金	140,700	各種研修費用
	租税公課	6,624,011	
合 計	127,569,804		
当期収支差額		0	

令和3年度 業務収支状況報告書

(単位：円)

区分	項目	金額	内 訳
収入	施設利用料金収入	7,207,591	施設使用料、自販機使用料、自販機電気代等雑収入
	寄付金収入	0	
	高齢者大学受講料	1,302,000	
	指定管理料	98,848,000	
	その他収入	0	
	合 計	107,357,591	
支出	人件費	71,253,834	職員給与・手当・通勤旅費・福利厚生費等
	維持管理費	36,103,757	
	光熱水費	7,760,573	電気・ガス・水道
	燃料費	868,629	ガソリン等
	印刷費	314,803	
	修繕費	4,881,059	
	消耗品費	676,567	
	報償費	108,000	講師謝金
	旅費交通費	168,562	職員旅費、講師旅費
	役務費	1,781,241	通信費・郵送費・保険料等
	委託費	11,794,586	清掃・機械警備・一般廃棄物処理・各種保守点検等
	使用料賃借料	698,665	複写機・会計システム・公用車リース等
	消耗什器備品	255,252	
	負担金	95,060	各種研修費用
	租税公課	6,700,760	
合 計	107,357,591		
当期収支差額		0	

令和4年度 業務収支状況報告書

(単位：円)

区分	項目	金額	内 訳
収入	施設利用料金収入	13,615,793	施設使用料、自販機使用料、自販機電気代等雑収入
	寄付金収入	0	
	高齢者大学受講料	1,302,000	
	指定管理料	102,773,000	
	その他収入	2,642,000	補助金
	合 計	120,332,793	
支出	人件費	73,033,525	職員給与・手当・通勤旅費・福利厚生費等
	維持管理費	47,299,268	
	光熱水費	13,525,336	電気・ガス・水道
	燃料費	1,744,264	ガソリン等
	印刷費	212,968	
	修繕費	5,226,790	
	消耗品費	2,559,805	
	報償費	239,500	講師謝金
	旅費交通費	227,015	職員旅費、講師旅費
	役務費	1,513,169	通信費・郵送費・保険料等
	委託費	11,853,551	清掃・機械警備・一般廃棄物処理・各種保守点検等
	使用料賃借料	1,965,209	複写機・会計システム・公用車リース等
	消耗什器備品	1,031,910	
	負担金	283,700	各種研修費用、春のフェスティバル助成金
	租税公課	6,916,051	
合 計	120,332,793		
当期収支差額		0	

令和 3 年度嬉野台生涯教育センター業務委託等契約一覧表

	契約内容	契約期間	年間契約金額 (円) (下段：総委託金額)
1	汚水処理浄化槽維持管理業務	R2. 4. 1～R5. 3. 31	1, 815, 000
		3年	5, 445, 000
2	清掃業務	R2. 4. 1～R5. 3. 31	(R2. 4. 1～R3. 3. 31) 9, 652, 500 (R3. 4. 1～R4. 3. 31) 7, 239, 375 (R4. 4. 1～R5. 3. 31) 7, 239, 375
		3年	24, 131, 250
3	空調機器保守点検整備業務	R2. 4. 1～R5. 3. 31	825, 000
		3年	2, 475, 000
4	自家用電気工作物保安業務 及びデマンド監視業務	R2. 4. 1～R5. 3. 31	556, 600
		3年	1, 669, 800
5	一般廃棄物処理業務	R2. 4. 1～R5. 3. 31	67, 833
		3年	203, 500
6	エレベータ保守管理業務	R2. 4. 1～R5. 3. 31	422, 400
		3年	1, 267, 200
7	消防設備点検及び保守業務	R2. 4. 1～R5. 3. 31	330, 000
		3年	990, 000
8	夜間等機械警備業務	H30. 1. 1～R4. 12. 31	(H30. 1. 1～R元. 9. 30) [月額] 11, 340 (R元. 10. 1～R4. 12. 31) [月額] 11, 550
		5年	688, 590

令和4年度嬉野台生涯教育センター業務委託等契約一覧表

	契約内容	契約期間	年間契約金額（円） （下段：総委託金額）
1	汚水処理浄化槽維持管理業務	R2. 4. 1～R5. 3. 31	1,815,000
		3年	5,445,000
2	清掃業務	R2. 4. 1～R5. 3. 31	(R2. 4. 1～R3. 3. 31) 9,652,500 (R3. 4. 1～R4. 3. 31) 7,239,375 (R4. 4. 1～R5. 3. 31) 7,239,375
		3年	24,131,250
3	空調機器保守点検整備業務	R2. 4. 1～R5. 3. 31	825,000
		3年	2,475,000
4	自家用電気工作物保安業務 及びデマンド監視業務	R2. 4. 1～R5. 3. 31	556,600
		3年	1,669,800
5	一般廃棄物処理業務	R2. 4. 1～R5. 3. 31	67,833
		3年	203,500
6	エレベータ保守管理業務	R2. 4. 1～R5. 3. 31	422,400
		3年	1,267,200
7	消防設備点検及び保守業務	R2. 4. 1～R5. 3. 31	330,000
		3年	990,000
8	夜間等機械警備業務	H30. 1. 1～R4. 12. 31 R5. 1. 1～R6. 3. 31	(H30. 1. 1～R元. 9. 30) [月額] 11,340 (R元. 10. 1～R4. 12. 31) [月額] 11,550 (R5. 1. 1～R6. 3. 31) [月額] 11,550
		5年・15ヶ月	(H30. 1. 1～R4. 12. 31) 688,590 (R5. 1. 1～R6. 3. 31) 173,250

令和5年度嬉野台生涯教育センター業務委託等契約一覧表

	契約内容	契約期間	年間契約金額（円） （下段：総委託金額）
1	汚水処理浄化槽維持管理業務	R5. 4. 1～R6. 3. 31	1,815,000
		1年	1,815,000
2	清掃業務	R5. 4. 1～R6. 3. 31	11,330,000
		1年	11,330,000
3	空調機器保守点検整備業務	R5. 4. 1～R6. 3. 31	825,000
		1年	825,000
4	自家用電気工作物保安業務 及びデマンド監視業務	R5. 4. 1～R6. 3. 31	556,512
		1年	556,512
5	一般廃棄物処理業務	R5. 4. 1～R6. 3. 31	211,200
		1年	211,200
6	エレベータ保守管理業務	R5. 4. 1～R6. 3. 31	422,400
		1年	422,400
7	消防設備点検及び保守業務	R5. 4. 1～R6. 3. 31	330,000
		1年	330,000
8	夜間等機械警備業務	R5. 1. 1～R6. 3. 31	[月額] 11,550
		1年3ヶ月	173,250

業務仕様書

- 1 業務の名称 嬉野台生涯教育センター 汚水処理浄化槽維持管理業務
- 2 委託期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日
- 3 業務実施場所 兵庫県立嬉野台生涯教育センター
- 4 浄化槽の種類、能力及び業務内容等
 - (1) 合併処理浄化槽
 - ① 種類及び能力
 - ア 分流方式長時間曝気式生物接触酸化方槽
 - イ 1,400人槽・処理能力最大190 m³/日
 - ② 内容
 - ア 保守点検回数 8回/月
 - イ 水質検査
 - (ア) 規定項目 11回/年
 - (イ) 精密項目 1回/年
 - (ウ) COD測定 1回/2週 26回/年
 - (エ) 窒素・リン測定
 - ・全窒素・全リン 2回/年 1日=3回採水・3分析
 - ・全窒素・全リン 26回/年 1日=3回採水・混合
 - ウ スクリーン滓除去 8回/月
 - エ オイル等補給 1回/月
 - オ ポンプ槽点検 1回/月
 - カ 汚泥引き抜き清掃作業 4回/年
 - (2) 第一キャンプ場（炊事場）単独浄化槽
 - ① 種類及び能力
 - ア 単独浄化槽
 - イ 100人槽・総容量13.5 m³
 - ② 内容
 - 汚泥引き抜き清掃作業 1回/年
 - (3) 助言
 - ① 浄化槽の適正な使用方法
 - ② 浄化槽の使用に係る諸手続きをとること
 - ③ 浄化槽設備の改修に係ること（必要と認める場合、立会及び検査を行うこと）
 - (4) 別途作業（以下の作業については、本契約とは別途とする。）
 - ポンプ等の清掃にかかる作業費
- 5 その他
 - (1) 業務の実施に必要な消毒にかかる薬品費は、この契約に含まれるものとする。
 - (2) 業務の実施にあたっては、仕様書及び関係法令を遵守し、有資格者を派遣し業務を実施するものとする。また、有資格者の名簿を事前に提出するものとする。
 - (3) 当センターは、瀬戸内規制にかかる特定施設である。

業務委託仕様書

嬉野台生涯教育センター清掃業務は、この仕様書に基づき実施する。

この仕様書は、業務内容等の大要を定めたものであり、仕様書に記載されていない事項であっても施設管理運営上必要と認められるもので軽微な業務については契約金額の範囲内で業務を実施することとする。

また、この業務委託仕様書に定めのない事項については、その都度双方協議のうえ決定するものとする。

- 1 委託期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日
- 2 場 所 加東市下久米 1227-18 兵庫県立嬉野台生涯教育センター
- 3 清掃人員 平日4名、休日3名を常駐すること。必要に応じ増員しても差し支えない。
なお、うち1名を業務責任者として配置すること。
- 4 作業日時 年末年始の休業期間（12月29日～1月4日）を除く毎日。
時間は、毎日8時30分から15時までとする。ただし、特に必要な場合はそれ以外の時間でも差し支えない。
- 5 業務内容 別紙のとおり

6 一般的事項

業務の実施にあたり、衛生及び火気取り締まりに留意するとともに、利用者・職員及び清掃員に危害がないよう、十分な危険防止措置を図る。

また、委託者の業務に支障のないよう次の事項について十分留意する。

- (1) 業務に使用する機械器具、諸材料は、あらかじめ清掃場所の材質を十分に調査し、それぞれの場所の清掃に最適で、品質良好かつ清潔な器具、材料及び薬品等を用意する。また、作業の実施にあたり、汚染または損傷のおそれのあるものは、適切な方法で養生を行う。
- (2) 業務に使用する機械器具、諸材料等の負担は下記のとおりとする

【委託者が負担するもの】

- ① 仕様書【別紙】2 屋外施設整備業務に係る機材
- ② センターの運営上使用する消耗品（トイレトペーパー、石鹼、芳香剤、シャンプー、リンス、ゴミ袋等）

【受託者が負担するもの】

- ① 業務に使用する機械器具（ただし、仕様書【別紙】2 屋外施設整備業務に係る機材を除く）
 - ② 業務に使用する薬剤等消耗品
- (3) 業務報告は、清掃日誌等により毎日委託者へ報告・提出する。
業務内容に不備がある場合や利用者から苦情がある場合は速やかに対応する。
- (4) 清掃作業用に車両を配置すること。また、業務対象区域が広範囲であるため、車両での移動を認める。
- (5) その他の細部については、委託者の指示に従う。

7 清掃作業員

- (1) 清掃作業員は、身元確実な者であって、素行上いかがわしい者でないこと。
- (2) 委託者が業務に適していないと判断した作業員については、速やかに（概ね1か月以内）人員を変更すること。
- (3) 業務時間内は、清掃作業員に連絡が取れるようにすること。

8 その他

- (1) 各宿泊棟内及び浴室・トイレは特に衛生面等に注意を払い、利用者が不快なイメージを持たないよう最善をつくすこと。
- (2) 受託者は本業務の実施にあたっては委託者又は第三者に損害を及ぼした時は、委託者の責に帰する理由による場合の他は、その賠償の責を負わなければならない。
- (3) 受託者は、善良なる管理者の注意義務を持って作業を実施し、万一、備品・建物等に損傷を与えた場合は、委託者に速やかに報告するとともに、受託者の責任において現状回復すること。
- (4) 関係法令等を遵守すること。

【別紙】

1 日常清掃業務

- | | |
|----------------------------------|--------|
| (1) 本館・学習交流棟・レストランうれし野 | |
| ① 玄関、ホール、廊下、階段<Pタイル、タイル床> | 週1回以上 |
| ② 便所・洗面所<すべてタイル床> | 毎日1回以上 |
| ③ 研修室等各室<Pタイル又はカーペット> | 週1回程度 |
| ④ 応接室、特別会議室、幼児室 <カーペット> | 月1回程度 |
| ⑤ レストランうれし野（ホール部分）<Pタイル> | 利用毎 |
| (2) 成人宿泊棟 | |
| ① 玄関<タイル>、ホール<以下カーペット>、廊下、階段 | 週1回程度 |
| ② 客室<カーペット又は畳>、浴室、脱衣所、便所 | 利用毎 |
| (3) リーダー管理棟 | |
| ① ロビー、エントランス<コンクリート> | 週1回程度 |
| ② 浴室、脱衣所<すのこ>、便所<タイル床> | 利用毎 |
| (4) スポーツ管理棟、体育館 | |
| ロビー、エントランス、シャワー室、更衣室、便所 | 週1回程度 |
| (5) 青少年食堂（ホール部分）<タイル床> | 利用毎 |
| (6) 屋外便所棟（冒険の小川、第1キャンプ場）<コンクリート> | |
| 使用頻度によるが年平均すると | 週1回程度 |
| (7) // （青少年の杜、サバイバルキャンプ場） | |
| <コンクリート> | 年2回程度 |

2 屋外施設整備業務

以下の業務を作業時間内に担当者1名で実施すること。

また、季節により状況が異なるため、委託者と相談の上実施すること。

- (1) 芝生の刈り込み、雑草の除去・刈り取り
(多目的グラウンド、芝生広場、テニスコート、中庭、キャンプ場、冒険の小川等の施設内)
- (2) 花壇・植木の剪定・散水（簡易なものに限る）
- (3) 落ち葉の収集、倒木の処理、排水溝清掃

3 定期清掃業務

(1) 床ワックス艶出し仕上げ 年 1 回

- ① 本館ホール及び廊下
- ② 学習交流棟ホール
- ③ 講堂
- ④ レストランうれし野
- ⑤ 青少年食堂
- ⑥ 第1～6研修室

(2) エアコンフィルター清掃 年 1 回

- ① 成人宿泊棟 (26 基)
- ② リーダー管理棟 (4 基)、青少年宿泊棟 (20 基)

※日程は、委託者と協議のうえ決定すること。

4 リネン交換・設置業務

(1) 成人宿泊棟 利用 毎

- ① 客室のリネンの交換 (洋室はメイキングを含む、和室はメイキング不要)。
- ② 使用済みのリネンを泊棟内の所定の箇所に収集。

(2) 青少年宿泊棟 利用 毎

指示数量のリネンをリーダー管理棟内の所定箇所に設置 (メイキング不要)。

5 清掃上の留意事項

(1) 各玄関、エントランス

- ① ほうき掃きを行い、特に汚れの著しい個所は水拭きを行うこと。
マットの箇所は、必要に応じ掃除機にて掃除すること。
- ② ガラス扉を水拭きすること。
- ③ エントランスのテーブル、椅子、下駄箱、什器備品の清掃、整理整頓を行うこと

(2) 研修室、食堂のホール部分、廊下等のPタイル、タイル床

ほうき掃き又は掃除機での清掃とし、特に汚れの著しい個所は水拭きを行うこと。

(3) 便所・洗面所

- ① 床はほうき掃きを行うこと。また、週 1 回程度水拭き清掃を行うこと (屋外便所を除く)。
- ② 便器 (上面、側面を含む)・洗面器の清掃、鏡、金属磨き上げを行うこと

と。(便器には男性小便器トラップ内の清掃、洗面器は排水口の清掃を含む)

- ③ トイレトペーパーの補充を行うこと。
- ④ 汚物箱内ゴミの回収を行うこと。
- ⑤ 手洗液の補充を行うこと (屋外便所を除く)。
- ⑥ 壁、ドア、窓ガラスに汚れがある際は、水拭き等を行うこと。

(4) 畳・カーペット床

掃除機での清掃を行うこと。特に汚れの著しい箇所はシミ落としを行うこと。

(5) 浴室・脱衣所、シャワー室・更衣室

- ① 浴室・浴槽、シャワー室は洗剤でブラシ清掃後、水洗いを行うこと。また、排水口の清掃も行うこと。
- ② 成人宿泊棟浴室は、シャンプー等の補充を行うこと。
- ③ 脱衣場、更衣室は掃除機をかけ、必要に応じて水拭きを行うこと。また、衣類を置く棚、ロッカーは、必要に応じ拭き掃除を行うこと。

(6) 成人宿泊棟・客室

- ① 床は、掃除機にて清掃を行うこと。
- ② 備品 (椅子、ゴミ箱、ドライヤー、ポット、湯茶セット等) の整理整頓を行うこと。また、忘れ物の確認を行うこと。(ロッカー、金庫内を含む)
- ③ ポット、湯茶セットは、利用ごとに洗剤で洗浄すること。
- ④ 洗面所は、上記(3)便所・洗面所に順じ清掃すること。
- ⑤ 洋室のベッドメイキングは、丁寧に行うこと。
- ⑥ 特別室(215号室)のユニットバスは、上記(5)に順じ清掃すること。
- ⑦ ロビーの湯沸かしポット、電子レンジの清掃を行うこと。

(7) 紙くず・汚物・吸殻等

所定の場所に搬出すること。

業務委託仕様書

- 1 業務の名称 嬉野台生涯教育センター 空調機器等保守点検整備業務
- 2 業務委託期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日
- 3 業務内容等
 - (1) 対象機器 別紙1のとおり（点検機器一覧）
 - (2) 点検時期 別紙2のとおり（点検周期）
 - (3) 作業内容等
 - ①作業内容 別紙3のとおり（作業実施内容）
 - ②作業時間 原則として平日に実施すること。
ただし、故障発見時及び緊急時等には、時間外であっても直ちに係員を派遣し、点検修理に当たるなど迅速に対応すること。（年間保守点検業務回数には算入しないものとする。）
 - ③機械器具材料 点検整備に必要な機械器具・工具や消耗部品・材料（パッキン、Oリング、真空グリス、ランプ、ヒューズその他これらに類するもの）は、一切受託者の負担とする。
 - ④作業実施の打合等 作業の実施に際しては、嬉野台生涯教育センターの運営に支障のないよう、予め充分打合せをし、承認を得てから実施すること。また、終了後は速やかに報告書を提出すること。
 - ⑤設備の取扱い 設備は丁寧に取扱うとともに故障の早期発見に努め、異常又はその兆候を発見した場合は、直ちに嬉野台生涯教育センターに連絡するとともに必要な措置をとり、常に正常な運転状態を維持するよう点検整備すること。
 - ⑥助言等 受託者は、各設備の使用・管理方法等について、嬉野台生涯教育センターより助言を求められた場合は必要な助言を行うこと。
 - ⑦記録簿の作成等 フロン排出抑制法に係る冷媒漏えい点検・整備記録簿を作成し、点検・修理やフロン類の充填・回収等の整備に関する履歴を記録すること。また1年間のフロン類漏えい量を算定すること。

⑧別途作業（以下の作業については、本契約とは別途とする。）

- ア 誤操作及び取扱い不良に起因する点検修理。
- イ 水質不良に起因する水垢除去及び腐食の修理。
- ウ 天災、火災等不可抗力に起因して生じた故障の修理。
- エ 空調機器及び付属機器のオーバーホール。
- オ 不良交換部品代。
- カ 点検機器一覧以外の冷凍空調機器の保守。

4 提出書類

- | | |
|---------------------------|------|
| (1) 作業工程表 | 1 部 |
| (2) 業務責任者届及び経歴書 | 1 部 |
| (3) 作業員名簿 | 1 部 |
| (4) 保守点検業務報告書 | 1 部 |
| (5) 冷媒漏えい整備・点検記録簿 | 1 部 |
| (6) その他嬉野台生涯教育センターの指示するもの | 指示部数 |

点検機器一覧

機 種	仕様(能力)	定格電機定格出力	機器メーカー型式	台数	系統・設置場所
空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室外機 ビル用マルチ	C: 118kw H: 132kw	26.8kw	日立製作所	1	本館南 2階系統
空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室内機 天井カセット4方向	C: 5.6kw H: 6.3kw	-	〃	2	2階第3研修室
空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室内機 天井カセット4方向	C: 9.0 H: 10.0kw	-	〃	2	2階第5研修室
空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室内機 天井カセット4方向	C: 5.6kw H: 6.3kw	-	〃	10	2階第1・2研修室
空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室内機 床置ダクト型	C: 14.0kw H: 16.0kw	-	〃	1	2階ホール
空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室外機 ビル用マルチ	C: 61.5kw H: 69.0kw	15kw	〃	1	本館西系統
空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室内機 床置ダクト型	C: 14.0kw H: 17.0kw	-	〃	1	2階和室会議室
空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室内機 床置ダクト型	C: 14.0kw H: 16.0kw	-	〃	1	2階音楽室
空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室内機 床置ダクト型	C: 8.0kw H: 9.0kw	-	〃	1	2階手芸室
空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室内機 床置ダクト型	C: 5.6kw H: 5.3kw	-	〃	1	2階友の会ルーム
空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室内機 床置ビルトイン型	C: 14.0kw H: 16.0kw	-	〃	1	2階第4研修室
空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室外機	C: 61.5kw H: 69.0kw	0.95kw	〃	1	2階特別会議室
空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室内機 天吊型	C: 5.0kw H: 6.0kw	-	〃	1	
空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室外機 ビル用マルチ	C: 45.0kw H: 50.0kw	10.4kw	〃	1	本館南1階系統
空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室内機 床置ダクト型	C: 14.0kw H: 16.0kw	-	〃	3	1階染色陶芸木工室
空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 床置給還ダクト型	C: 140.0kw H: 160.0kw	23.4kw	〃	2	講堂系統
空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 床置ダクト型	C: 100.0kw H: 112kw	15.0kw	〃	2	食堂棟系統
空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 床置ダクト型	C: 56.0kw H: 63.0kw	23.4kw	〃	1	本館棟2階ホール
空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 天井カセット4方向ツインマルチ	C: 10.0kw H: 11.2kw	2.2kw	〃	2	学習交流棟 事務室
空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 天井カセット4方向ツインマルチ	C: 12.5kw H: 14.0kw	3.0kw	〃	1	本館1階視聴覚室
空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 天井カセット4方向	C: 5.6kw H: 6.3kw	1.38kw	〃	2	本館1階応接室第6研修室
空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 壁掛型	C: 5.0kw H: 5.6kw	0.96kw	〃	2	本館1階医務室相談室
空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 床置給還ダクト型	C: 50.0kw H: 56.0kw	15kw	〃	1	学習交流棟2階ホール
空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室外機 ビル用マルチ	C: 20.0kw H: 22.4kw	4.0kw	〃	1	学習交流棟2階系統
空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室内機 天井カセット4方向	C: 7.1kw H: 8.0kw	-	〃	1	所長室
空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室内機 天井カセット4方向	C: 7.1kw H: 8.0kw	-	〃	1	次長室
空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室内機 天井カセット4方向	C: 7.1kw H: 8.0kw	-	〃	1	会議室
ルームエアコン 壁掛型	C: 2.2kw H: 3.4kw	0.8kw	〃	1	本館棟1階宿直室
集中リモコン				3	学習交流棟事務室

点検周期

記号	機種	機器メーカー型式	台数	冷房開始前	冷房期間中	暖房開始前	暖房期間中
EHP-A	空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室外機 ビル用マルチ	日立製作所	1	○	-	○	-
EHP-A-1	空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室内機 天井カセット4方向	〃	2	○	-	○	-
EHP-A-2	空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室内機 天井カセット4方向	〃	2	○	-	○	-
EHP-A-3	空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室内機 天井カセット4方向	〃	10	○	-	○	-
EHP-A-4	空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室内機 床置ダクト型	〃	1	○	-	○	-
EHP-2	空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室外機 ビル用マルチ	〃	1	○	-	○	-
EHP-2-1	空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室内機 床置ダクト型	〃	1	○	-	○	-
EHP-2-2	空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室内機 床置ダクト型	〃	1	○	-	○	-
EHP-2-3	空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室内機 床置ダクト型	〃	1	○	-	○	-
EHP-2-4	空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室内機 床置ダクト型	〃	1	○	-	○	-
EHP-2-5	空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室内機 床置ビルトイン型	〃	1	○	-	○	-
AC-3	空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室外機	〃	1	○	-	○	-
	空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室内機 天吊型	〃	1	○	-	○	-
EHP-3	空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室外機 ビル用マルチ	〃	1	○	-	○	-
EHP-3-1	空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室内機 床置ダクト型	〃	3	○	-	○	-
EHP-4	空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 床置給還ダクト型	〃	2	○	-	○	-
EHP-5	空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 床置ダクト型	〃	2	○	-	○	-
EHP-6	空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 床置ダクト型	〃	1	○	-	○	-
EHP-7	空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 天井カセット4方向ツインマルチ	〃	2	○	-	○	-
EHP-8	空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 天井カセット4方向ツインマルチ	〃	1	○	-	○	-
EHP-10	空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 天井カセット4方向	〃	2	○	-	○	-
EHP-11	空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 壁掛型	〃	2	○	-	○	-
EHP-14	空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 床置給還ダクト型	〃	1	○	-	○	-
EHP-B	空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室外機 ビル用マルチ	〃	1	○	-	○	-
EHP-B-1	空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室内機 天井カセット4方向	〃	1	○	-	○	-
EHP-B-2	空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室内機 天井カセット4方向	〃	1	○	-	○	-
EHP-B-3	空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 室内機 天井カセット4方向	〃	1	○	-	○	-
EHP-16	ルームエアコン 壁掛型	〃	1	○	-	○	-
	集中リモコン		3	○	-	○	-

別紙 3

作業実施内容

- I 空気熱源ヒートポンプエアコン 年間 2 回点検
- 1 基礎、固定部、外観、内部、付属品の状況点検
 - ① 固定金具の劣化及びボルトの緩みを点検する。
 - ② 本体腐食・変形・破損等の有無を点検する。
 - ③ 保冷材の損傷及び脱落の有無を点検する。
 - ④ 熱交換器のフィンコイルの汚れ、損傷、漏水等の有無を点検する。

 - 2 電気系統、保安装置の状況点検
 - ① 冷暖房切替スイッチ及び四方切替弁の作動の良否を点検する。
 - ② 操作回路・電動機・ヒーター回路の絶縁を測定し、その良否を確認する。
 - ③ 電磁開閉器等の端子の緩み・変色・破損等の有無を点検する。
 - ④ クランクケースヒーターの温度異常、断線等の有無を点検する。
 - ⑤ 操作盤の異物の付着等を点検し、内部清掃を実施する。
 - ⑥ 接地線の断線及び緩みの有無を点検する。

 - 3 圧縮機、冷媒系統、潤滑油系統
 - ① ガス漏れの有無を点検する。(フロン排出抑制法に係る定期点検を満たすもの)
 - ② 配管の損傷・接触・磨耗・腐食等の有無を点検する。
 - ③ 油の汚れの有無及び油量の適否を点検する。
 - ④ 騒音・振動等の点検確認。

 - 4 送風機関係
 - ① 軸受け等の音及び振動の異常の有無を点検する。
 - ② 羽根の損傷等の劣化・振動等の有無を点検する。
 - ③ エアークフィルターの清掃を行う。

 - 5 運転調整
 - ① 運転音・振動等に異常がないことを確認する。
 - ② 主電源電圧及び電流の確認(主電源電圧の変動が規定値内であること)
 - ③ 圧縮機電流目送風機電流が規定値内あることを確認する。
 - ④ 冷媒ガスの温度等の状態を把握するために必要な計測を行い、その値が許容値範囲内にあることを確認する。
 - ⑤ 熱交換状況の確認(冷媒・冷却風の温度を測定し、熱交換状況を確認)

II ポンプ類

年間2回点検

- 1 外観の状況点検（腐食・損傷・漏洩等の有無）
- 2 異常音・異常振動等の有無を点検する。
- 3 電動機絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。
- 4 運転調整（圧力・運転電圧・電流の計測）

III 温水ボイラー

年間2回点検

- 1 外観の状況点検（腐食・損傷・漏洩等の有無）
- 2 異常音・異常振動等の有無を点検する。
- 3 電動機絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。
- 4 運転調整（バーナー燃焼調整・運転電圧・電流の計測）
- 5 安全・制御装置の点検、作動確認。

IV タンク類

年間1回点検

- 1 外観の状況点検（腐食・損傷・漏洩等の有無）
- 2 内部開放点検清掃。
- 3 各部漏水点検確認。

嬉野台生涯教育センター自家用電気工作物保安管理業務
及びデマンド監視業務に関する契約書

契約の対象となる自家用電気施設

名 称	所 在 地
兵庫県立嬉野台生涯教育センター	兵庫県加東市下久米 1227-18

公益財団法人兵庫県生きがい創造協会 嬉野台生涯教育センター（以下「甲」という。）と [REDACTED]（以下「乙」という。）とは、甲が中部近畿産業保安監督部長に提出する「自家用電気工作物保安規程（以下「保安規程」という。）に基づき、甲の設置する上記場所（以下「契約施設」という。）の自家用電気工作物（以下「電気工作物」という。）の経常保安管理委託業務（以下「委託業務」という。）等に関して、下記の条項に従うほか、仕様書、関係法令を遵守し、信義誠実の原則を守り、契約を締結する。

（委託業務内容）

第1条 乙が実施する保安管理業務は、電気工作物の保安管理業務を実施する者（以下、保安業務従事者という。）が自ら実施するものとする。

2 乙が実施する委託業務は次の各号によるものとする。

- (1) 乙は、保安規程の内容を確認し、保安管理の責任を果たすとともに、定期的な点検、測定及び試験等（その細目及び具体的基準は、別表2「巡視・点検・測定試験基準」のとおり）を行い、その結果を記録し、甲に報告すること。また、経済産業省令で定める電気設備に関する技術基準を定める省令（以下「技術基準」という。）の規定に適合しない事項又は適合しないおそれがあるときは、とるべき措置について甲に指示または助言すること。
- (2) 乙は、電気事故その他電気工作物に異常が発生し、又は発生するおそれがある場合において、甲若しくは関西電力（株）等より通知を受けたときは、事故・故障の状況に応じて臨時点検を行い、事故原因を探し、応急措置を指導し、再発防止につきとるべき措置を報告するとともに、必要に応じて電気事業法第106条の規定に基づく電気関係報告規則に定める電気事故報告の作成及び手続の助言を行うこと。
- (3) 電気事業法第107条第3項に規定する立入検査の立ち会いを行うこと。
- (4) 契約施設における電気工作物の工事、維持及び運用に関する中部近畿産業保安監督部長への提出書類及び図面について、その作成及び手続の助言を行うこと。
- (5) 契約施設における電気工作物の設置又は変更の工事について、自家用電気工作物の技術基準への適合状況を確認するため、設計の審査及び竣工検査を行い、必要に応じてそのとるべき措置について甲に報告すること。
- (6) 契約施設における電気工作物の設置又は変更の工事について、甲の通知を受けて、別表2「巡視・点検・測定試験基準」に定めるところにより、工事期間中の点検を行い、その結果を報告するとともに技術基準の規定に適合しない又は適合しないおそれがあるときは、そのとるべき措置について甲に報告すること。

3 前項の規定にかかわらず、乙に委託する保安管理業務のうち、次の各号のいずれかに該当する電気工作物については、乙の監督の下で点検が行われ、かつ、その記録が乙により確認されるものに限り、甲は点検、測定及び試験の全部又は一部を電気工事業者、電気機器製造業者等に依頼して行うことができる。

- (1) 設備の特殊性のため、専門の知識及び技術を有する者でなければ点検を行うことが困難な電気工作物
 - ① 建築基準の規定に基づき、一級建築士等の検査を要する建築設備
 - ② 消防法の規定に基づき、消防設備士免状の交付を受けている者等の点検を要する消防設備等又は特殊消防用設備等
 - ③ 労働安全衛生法の規定に基づき、検査業者等の検査を要することとなる機械
 - ④ 機器の精度等の観点から専門の知識及び技術を有するものによる調整を要する機器（医療用機器、オートメーション化された工作機械群等）
 - ⑤ 内部点検のための分解、組立に特殊な技術を要する機器（密閉型防爆構造機器等）

(2) 設置場所の特殊性のため、乙が点検を行うことが困難な電気工作物。

- ① 立入に危険を伴う場所（酸素欠乏危険場所、有毒ガス発生場所、高所での危険作業を伴う場所、放射線管理区域等）
- ② 情報管理のため立入が制限される場所（機密文書保管室、研究室、金庫室、電算室等）
- ③ 衛生管理のため立入が制限される場所（手術室、無菌室、新生児室、クリーンルーム等）
- ④ 機密管理のため立入が制限される場所（独居房等）
- ⑤ 立入に専門家による特殊な作業を要する場所（密閉場所等）

(3) 事業場外で使用されている可搬型機器である電気工作物。

(4) 発電設備のうち電気設備以外である電気工作物。

4 使用機器及びそれに付随する配線器具等については、第1項によるほか、甲が確認を行うものとする。

(業務委託料等)

第2条 甲は、業務委託料として、別表1のとおり、乙に支払うものとする。

2 電気工作物の保安業務に必要な届出等は乙が遺漏なく全て行い、甲はこれに協力するものとする。ただし、届出等に関する諸経費は業務委託料に含む。

3 電気工作物の保安管理上必要な測定器具類、その他の工具備品材料、消耗品記録用紙、帳簿等は乙が準備するものとする。

4 経常保安業務以外の文書作成、設計、製図、特別の検査精密点検及び出頭研究、調査等の費用、出張交通費、日当、宿泊費その他経費、工事等の監督費等は甲、乙協議のうえ定めるものとする。

(契約保証金)

第3条 甲は、財務規則（昭和39年兵庫県規則第31号）第100条第1項第8号の規定により、乙が納付すべき契約保証金を免除する。

(内容の変更等)

第4条 甲は、必要に応じて、委託業務の内容の全部又は一部を変更することができる。この場合において、委託料を変更する必要があるときは、甲乙協議して書面によりこれを定める。

(点検の頻度と監視装置)

第5条 第1条第2項に定める乙が定期的に行う点検内容は別表2「巡視・点検・測定試験基準」によるものとし、点検の頻度は次のとおりとする。

ただし、年次点検Ⅰ及びⅡには月次点検が、また、年次点検Ⅱには年次点検Ⅰが含まれる。

- (1) 月次点検 毎月1回（設置・改造等の工事期間中は毎週1回以上）
- (2) 年次点検 毎年1回
- (3) 臨時点検 必要の都度
- (4) 竣工検査 必要の都度

2 上記点検のほか、甲に日常巡視等において異常等がなかったか否かの問診を行い、異常があった場合には、乙は点検を行うものとする。

(契約期間)

第6条 契約期間は令和5年4月1日から令和6年3月31日までとする。

(履行遅滞の場合の違約金)

第7条 乙の責に帰すべき理由により、履行期限内に契約を履行しないときは、乙は、違約金を甲に支払わなければならない。

2 前項の違約金の額は、契約の履行期限の翌日から履行の日までの日数に応じ、委託料につき年10.75パーセントの割合で計算した額とする。ただし、履行が可分の契約で委託料を分割して計算することができるときは、履行遅滞となった部分の委託料について計算した額とする。

(解除等)

第8条 甲は、乙が次の各号の一に該当するときは、相当の期間を定めてその履行の催告をし、その期間内に履

行がないときは、この契約を解除することができる。ただし、その期間を経過した時における債務の不履行がこの契約及び取引上の社会通念に照らして軽微であるときは、この限りでない。

- (1) 正当な理由なく、契約の履行着手期限を過ぎても履行に着手しないとき。
- (2) その責に帰すべき理由により、履行期限内に契約を履行しないとき、又は契約を履行する見込みがないと明らかに認められるとき。
- (3) 乙又はその代理人その他の使用人が、監督又は検査に際し、職務執行を妨げたとき。

第8条の2 甲は、乙が次の各号の位置に該当するときは、直ちにこの契約を解除することができる。

- (1) 乙又は乙が代理人、支配人その他使用人若しくは入札代理人として使用していた者が、この契約の入札に関して地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第2項第2号に該当すると認められたとき。
- (2) 乙又はその代理人が、契約事項に違反し、そのため契約の目的を達することができないと認められるとき。

第8条の3 甲は、第8条各号又は前条各号に規定する場合は甲の責に帰すべき理由によるものであるときは、前2条の規定による契約の解除をすることができない。

- 2 甲は、翌年度以降の歳入歳出予算において、この契約に係る予算の減額又は削除があったときは、この契約を解除することができる。
- 3 前2条の規定によりこの契約が解除された場合において、乙は、委託料の10分の1に相当する額を違約金として甲に支払わなければならない。ただし、この契約が解除された場合が、この契約及び取引上の社会通念に照らして乙の責に帰することができない理由によるものであるときは、この限りでない。
- 4 前2条の規定による解除に伴い、乙に損害が生じたとしても乙は甲に対してその損害の賠償を請求することはできない。
- 5 この契約は次の各号のいずれかに該当するときは、その効力を失うものとする。
 - (1) 電気事業法施行規則第52条第2項の規定に基づく電気主任技術者を選任しないことについての承認が得られないとき、又は承認が取消となったとき
 - (2) 需要設備の受電電圧が7,000Vを超えるとき
 - (3) 配電線路の電圧が600Vを超えるものとなったとき
 - (4) この契約の対象である電気工作物が一般用電気工作物となったとき
 - (5) この契約の対象である電気工作物が廃止されたとき
 - (6) 電気事業法施行規則第48条第1項各号に掲げる場所となったとき
- 6 次の各号に掲げる者がこの契約を解除した場合は、第3項に該当する場合とみなす。
 - (1) 受注者について破産手続開始の決定があった場合において、破産法（平成16年法律第75号）の規定により選任された破産管財人
 - (2) 受注者について更生手続開始の決定があった場合において、会社更生法（平成14年法律第154号）の規定により選任された管財人
 - (3) 受注者について再生手続開始の決定があった場合において、民事再生法（平成11年法律第225号）の規定により選任された再生債務者等

（暴力団等の排除）

第9条 甲は、次条第1号の意見を聴いた結果、乙が次の各号のいずれかに該当する者（以下「暴力団等」という。）であると判明したときは、特別の事情がある場合を除き、契約を解除するものとする。

- (1) 暴力団排除条例（平成22年兵庫県条例第35号）第2条第1号に規定する暴力団及び第3号に規定する暴力団員
- (2) 暴力団排除条例施行規則（平成23年兵庫県公安委員会規則第2号）第2条各号に規定する暴力団及び暴力団員と密接な関係を有する者

2 前条第3項から第4項までの規定は、前項の規定による契約の解除に準用する。

第10条 甲は、必要に応じ、次の各号に掲げる措置を講じることができるものとする。

- (1) 乙が暴力団等であるか否かについて兵庫県警察本部長に意見を聴くこと。
- (2) 前号の意見の聴取により得た情報を、他の契約において暴力団等を排除するための措置を講ずるために利用し、又は兵庫県公営企業管理者及び兵庫県病院事業管理者に提供すること。

第11条 乙は、この契約の履行に当たり、暴力団等から業務の妨害その他不当な要求を受けたときは、甲にその旨を報告するとともに、警察に届け出て、その捜査等に協力しなければならない。

(適正な労働条件の確保)

第12条 乙は、この契約における労働者の適正な労働条件を確保するため、別記「適正な労働条件の確保に関する特記事項」を守らなければならない。

(届出等)

第13条 本契約解除の際は、甲が提出する後任者選任に関する届出書、若しくは、乙を不要とする届出書を中部近畿産業保安監督部長にすみやかに提出するものとする。

2 この契約が有効である間は、乙は、本契約に基づく責任と義務を有するものとし、後任者に対する引き継ぎは完全に了することを要する。

(保安業務担当者の資格等)

第14条 乙は、第1条第1項に掲げる電気工作物の保安管理業務を実施する保安業務担当者には電気事業法施行規則に適合する者をあてるものとする。

2 保安業務担当者は、保安管理業務に従事する資格を有する証を常に携帯し、甲の求めに応じ提示しなければならない。

3 乙の保安業務担当者は、必要に応じ他の保安業務担当者（以下「保安業務従事者」という。）に、保安管理業務の一部を実施させることができるものとする。

4 保安業務担当者及び保安業務従事者は、必要に応じ補助者を同行し、保安業務の実施を補助させることができるものとする。

5 保安業務担当者を明確にするため、乙は、前各号で定める保安業務担当者並びに保安業務従事者の氏名及び生年月日並びに主任技術者免状の種類及び番号を、乙の事業所への連絡方法とともに書面をもって甲に知らせ、甲は面接等により本人の確認を行うものとする。なお、保安業務担当者等の変更を行う必要が生じた場合にあっても同様とする。

6 保安業務担当者は、疾病等により、この委託業務を遂行しがたい時は、6ヶ月以内の期間に限って、甲が承認できる電気管理技術者をもって代行させることができる（以下「代行者」という。）

7 代行者は、本契約に規定する保安業務担当者の責任と義務をすべて遵守するものとする。

(連絡責任者等)

第15条 甲は、乙との連絡についての責任を持つとともに常時電気工作物の取り扱いを担当する者（以下「連絡責任者」という。）を指名して常勤せしめ、その氏名、連絡方法等を乙に通知するものとする。

2 甲は、前項の連絡責任者に事故がある場合は、その業務を代行させるため代務者を定め、ただちにその氏名、連絡方法等を乙に通知するものとする。

3 甲は、前各項に変更が生じた場合は、ただちに乙に通知するものとする。

4 甲は、連絡責任者又はその代務者を、乙の行う保安管理業務に原則として立ち合わせるものとする。

5 連絡責任者は、異常事故、非常災害等の場合には、迅速に乙と連絡し、その指示及び指導を受けなければならない。

6 連絡責任者は、非常時の応急の措置、送電の停止、各機器の操作、連絡先及びその順位、連絡方法につき、予め乙の指導を受け、かつ、その詳細を見やすいところに掲示するとともに、非常時に対処するため訓練を受けておかななければならない。

7 甲は、需要設備の設備容量が6,000kVA以上の場合、連絡責任者として第1種電気工事士又はそれと同等以上の資格を有する者をあてるものとする。

8 乙は、常に所在を明らかにし、甲と常に密接な連絡を保ち、事故発生時には直ちに甲の施設に赴き、復旧その他の前後措置を迅速に処理して、停止時間の短縮に努力するばかりでなく、関係方面に対する通報、連絡、速報、詳細等に至るまで遺漏のないようにしなければならない。

(甲及び乙の協力及び義務)

第16条 甲は、乙の電気工作物に係る保安に関する意見を尊重し、速やかに必要な処置をとるものとする。

2 甲は、乙と協議の上、次の事項を立案決定するものとする。

- (1) 法令に基づいて関係省庁に提出するため作成する電気工作物の保安に関する書類
- (2) 電気工作物の安全な運用を確保するために行う補修工事の計画
- (3) 電気工作物の工事、維持または運用に関する巡視、点検及び測定試験の年度実施計画の作成
- (4) 平常時及び異常時における遮断器、開閉器その他機器の操作手順及び運転方法の策定
- (5) 非常災害、その他の災害に備えて、適切な措置をとり得る保安体制の整備

3 甲は、乙の意見を求めて、次の事項を決定し、または実施するものとする。

- (1) 電気工作物に係る保安上の重要事項
- (2) 甲の職員に対する電気工作物に関する保安教育及び非常災害時における措置の演習訓練
- (3) 甲が立案する電気工作物の設置、改造等の工事計画の保安に関する事項

4 電気工作物の保安管理上必要な危険の表示、その他危害防止に関する表示等は乙が企画し、その実施は甲と乙が協力して行うこととする。

5 乙は保安管理業務を誠実に行うものとする。

(記録)

第17条 保安規程に定める諸記録は、乙がこれを調整整理し、甲(又は甲の指名する者)に提出するものとする。

2 甲及び乙は、前項の記録を3年間保存するものとする。

(通知義務)

第18条 甲は、電気事故、その他災害が発生した場合又は発生するおそれがある場合には、直ちに乙に連絡するものとする。

(立入、機密の保持)

第19条 乙は、その職務を行うため随時甲の施設内に立ち入ることができるものとする。

ただし、甲がその職員に関して規定している服務規律を乙も尊重しなければならない。

2 乙は、甲の都合等によって立ち入りできない場所がある場合は甲に点検方法を指導する。その点検結果について乙が点検を行う必要を認めた場合は、甲は乙の立ち入りについて措置をおこなうものとする。

3 乙は、業務を行う上で知り得た情報を他人に漏らしてはならない。

4 乙は、委託業務を行うための個人情報の取扱いについては、別記「個人情報取扱特記事項」を守らなければならない。

(損害等の賠償)

第20条 委託業務の遂行にあたり生じた損害については、甲の責に帰する理由による場合のほかは、すべて乙の負担とする。

2 乙は、委託業務の遂行にあたり第三者に損害を及ぼしたときは、甲の責に帰する場合のほかは、その賠償の責を負わなければならない。

(賠償の予約)

第21条 乙は、乙(乙を構成事業者とする事業者団体を含む)又は乙が代理人、支配人その他使用人若しくは入札代理人として使用していた者が、この契約の入札に関して次の各号の一に該当したときは、業務委託料の10分の2に相当する額を賠償金として甲が指定する期間内に甲に支払わなければならない。委託業務が終了した後も同様とする。

(1) 刑法(明治40年法律第45号)第96条の3による刑が確定したとき。

(2) 刑法第198条による刑が確定したとき。

(3) 公正取引委員会が、私的独占の禁止及び公正取引確保に関する法律(昭和22年法律第54号。以下「独占禁止法」という。)第49条第1項の規定による排除措置命令を行い、同条第7項の規定により当該命令が確定したとき。

(4) 公正取引委員会が、独占禁止法第50条第1項の規定による課徴金納付命令を行い、同条第5項の規定により当該命令が確定したとき。

- (5) 排除措置命令又は課徴金納付命令を不服として、独占禁止法第52条第1項の規定による審判の請求を行った後、これを取り下げたため、同条第5項の規定により当該命令が確定したとき。
- (6) 公正取引委員会が、独占禁止法第65条、第66条第1項、同条第2項、同条第3項又は第67条第1項の規定による審決（第66条第3項の規定中、原処分の全部を取り消す旨の審決を除く。）を行い、当該審決が確定したとき。
- (7) 公正取引委員会が行った審決に対し、独占禁止法第77条の規定により審決取消しの訴えを提起し、その訴えについて請求棄却または訴え却下の判決が確定したとき。

2 前項の規定は、甲に生じた損害の額が同項に規定する賠償金の額を超える場合において、甲がその超過分につき賠償を請求することを妨げるものではない。

(賠償金等の徴収)

第22条 受注者が、この契約に基づく賠償金、損害金又は違約金を発注者の指定する期間内に支払わないときは、発注者は、その支払わない額に発注者の指定する期間を経過した日から業務委託料支払の日まで年3パーセントの割合で計算した利息を付した額と、発注者の支払うべき業務委託料とを相殺し、なお不足があるときは追徴する。

2 前項の追徴をする場合には、発注者は、受注者から遅延日数につき年3パーセントの割合で計算した額の遅延利息を徴収する。

(補則)

第23条 本契約条項に定めのない事項については、財務規則（昭和39年兵庫県規則第31号）によるほか、必要に応じて甲、乙協議して定める。

上記契約の証として本書2通を作成し、各自記名押印のうえ、その1通を保有する。

令和5年3月13日

甲 住所 加東市下久米 1227-18

氏名 公益財団法人兵庫県生きがい創造協会
嬉野台生涯教育センター

所長

印

乙 (電気管理技術者)

印

別表2 (巡視・点検・測定試験基準)

設 備		点検項目	工事期間 中の巡視、 点検 [週1回]	月次点検 [毎月1回]	年次点検 [年1回]
引 込 設 備	区分開閉器	外観点検	○	○	○
		1 kVボルト以上による絶縁抵抗測定			○
		継電器の動作試験			○
		継電器の動作特性試験			○
		開閉器と継電器の連動試験			○
	引込線、支持物、 ケーブル等	外観点検	○	○	○
	直流1 kVボルト以上による絶縁抵抗測定			○	
受 電 設 備	断路器	外観点検	○	○	○
		1 kVボルト以上による絶縁抵抗測定			○
	電力用ヒューズ	外観点検	○	○	○
		1 kVボルト以上による絶縁抵抗測定			○
	遮断器、負荷開閉器	外観点検	○	○	○
		1 kVボルト以上による絶縁抵抗測定			○
		継電器の動作試験			○
		継電器の動作特性試験			○
		遮断器、開閉器と継電器の連動試験			○
	変圧器	外観点検	○	○	○
		1 kVボルト以上による絶縁抵抗測定			○
		内部点検			○
		絶縁油の酸価度試験			○
	コンデンサ、 リアクトル	外観点検	○	○	○
		1 kVボルト以上による絶縁抵抗測定			○
	計器用変成器、零 相変流器	外観点検	○	○	○
		1 kVボルト以上による絶縁抵抗測定			○
	避雷器	外観点検	○	○	○
		1 kVボルト以上による絶縁抵抗測定			○
	母線等	外観点検	○	○	○
1 kVボルト以上による絶縁抵抗測定				○	
その他の高圧機器	外観点検	○	○	○	
	1 kVボルト以上による絶縁抵抗測定			○	
受 ・ 配 電 盤	配電盤、制御回路	外観点検	○	○	○
		電圧値、電流値の測定		○	○
		絶縁抵抗測定			○
		シーケンス試験			△
接 地 工 事	接地線、保護管等	外観点検	○	○	○
		接地抵抗測定			○
		漏えい電流測定		○	○

構造物	受電室建物、キュービクル式受・変電設備の金属製外箱等	外観点検	○	○	○
配電設備	電線路	外観点検	○	○	○
		絶縁抵抗測定			○
負荷設備	低圧機器	外観点検	○	○	○
		絶縁抵抗測定			○
	低圧配線、制御配線	外観点検	○	○	○
		絶縁抵抗測定			○
	開閉器	外観点検	○	○	○
		絶縁抵抗測定			○
	遮断器	外観点検	○	○	○
		絶縁抵抗測定			○
蓄電池設備	蓄電池	外観点検	○	○	○
		電圧測定		○	○
		比重測定			○
		液温測定			○
	充電装置及び付属装置	外観点検	○	○	○
		絶縁抵抗測定			○
構造物等	外観点検	○	○	○	
非常予備発電装置	原動機、始動装置及び付属装置	外観点検	○	○	○
		始動・停止試験		○	○
		保護継電器の動作試験			○
	発電機及び励磁装置	外観点検	○	○	○
		絶縁抵抗測定			○
	遮断器、開閉器、配電盤、制御装置等	外観点検	○	○	○
		絶縁抵抗測定			○
		発電電圧、周波数（回転数）の測定		○	○
保護継電器の動作試験				○	
				△	

本表に記載する事項のうち、主要な事項の取扱いは次のとおりとする。

- 「月次点検」とは、設備が運転中の状態において点検を実施するものをいい、「年次点検」とは、主として停電により設備を停止状態にして点検を実施するものをいう。
- 工事期間中の○印は、各点検項目の該当項目を示し、工事に係わる設備に対して適用する。
- 工事期間中の巡視、点検は工事工程にあわせ実施する。
- 工事完了後の竣工試験の実施、内容については協議により定める。
- 年次点検は当該月の月次点検を併せて行うものとする。
- 外観点検は、電気工作物の運転を停止しない状態で梯子その他の用具を用いず到達できる場所から目視等により実施する。ただし、設備の状況により運転を停止して点検することがある。
- 月次点検、年次点検の○印は、各点検項目の該当項目を示し、設備のある場合に適用する。
- 変圧器の絶縁油の酸価度試験は、過熱・変色、汚損等の異常がない場合、又はPCB油混入のおそれがある場合、一部又は全部を省略することがある。また内部点検は、前回の年次点検で実施していることが明らかな場合、一部又は全部を省略することがある。
- 変圧器の二次側より配電盤の主開閉器電源側の絶縁抵抗測定は、当該電路の接地線の取外しが困難な場合、漏えい電流測定に替えることがある。

- 10 各点検項目は、機器ごとの信頼性並びに各点検項目と同等と認められる手法によって確認した場合にあっては、その結果により当該点検の一部に替えることがある。
- 11 負荷設備の絶縁抵抗測定は、低圧電路の絶縁状態を監視する「低圧絶縁監視装置」により当該点検に替えることがある。
- 12 1^{kV}ボルト以上による絶縁抵抗測定は、6^{kV}ボルトの高圧設備に対して適用する。
- 13 点検・測定試験のための執務時間は、各項目についての点検・測定試験を実施し、かつ、その結果とるべき措置の指導、助言を行うために必要な時間とする。
- 14 年次点検にかかる点検・測定項目のうち、△印のものについて、信頼性が高くかつ、同等と認められる点検が1年に1回以上実施され、その結果が良好である機器については、甲、乙協議の上、停電により設備を停止状態にして実施する点検を実施しない場合があるものとする。
この場合、「信頼性が高い」及び「同等と認められる点検」とは次のとおりとする。
 - (1) 「信頼性が高い」とは、経済産業省告示第249号第4条第7号において規定されている設備条件を満たすものであって、設備更新推奨時期を超えていなものをいう。
 - (2) 「同等と認められる点検」とは、上記(1)の要件を満たしていることを確認するとともに、次の①～⑤に掲げる項目と同等と認められることの点検、その他必要に応じた測定、試験を行うこととする。
 - ① 低圧電路の絶縁抵抗が電気設備に関する技術基準を定める省令に規定された値以上であること並びに高圧電路が大地及び他の電路と絶縁されていること。
 - ② 接地抵抗値が電気設備の技術基準の解釈に規定された値以下であること。
 - ③ 継電器の動作特定試験及び継電器と遮断器の連動動作試験の結果が正常であること。
 - ④ 非常用予備発電装置が商用電源停電時に自動的に起動し、送電後停止すること並びに非常用予備発電設備の発電電圧及び発電電圧周波数（回転数）が正常であること。
 - ⑤ 蓄電池設備のセルの電圧、電解液の比重、温度等が正常であること。
- 15 定期点検時には、上記「巡視・点検・測定試験基準」に記載の点検のほか、甲に、日常巡視等において異常等がなかったか否かの問診を行い、異常等があった場合は、乙としての観点から点検を行うこと。

業 務 仕 様 書

- 1 業務の名称 嬉野台生涯教育センター 一般廃棄物処理業務
- 2 委託期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
- 3 業務実施場所 兵庫県立嬉野台生涯教育センター
- 4 業務内容 一般廃棄物処理
可燃物（紙屑、その他）
 - ・ 4月1日から9月30日
 - 収集 週3回（月・水・金）
 - ゴミの量 1回平均 13袋（45L）
 - ・ 10月1日から3月31日
 - 収集 週2回（月・木）
 - ゴミの量 1回平均 6袋（45L）
- 5 その他
業務の実施にあたって、この仕様書に定めのないものについては、センター所長の指示によるものとする。

業 務 仕 様 書

- 1 業務の名称 エレベータ保守管理業務
- 2 委託期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
- 3 業務実施場所 兵庫県立嬉野台生涯教育センター
- 4 機種及び台数 乗用（車椅子）エレベータ 1台
- 5 業務内容
 - (1) 技術者派遣点検
 - ① 3ヶ月に1回技術員又は監督技術者を派遣し、計画的な点検・手入れ保全（給油・調整・清掃等）を行うものとする。
 - ② 点検・手入れ保全の箇所・機器（点検対象）・内容は別表1のとおりとする。
 - ③ 点検・手入れ保全を行ったときは、点検報告書を提出すること。
 - (2) 遠隔監視点検
 - ① エレベータを構成する機器および運転状態を常時監視するとともに自動点検運転を行い、そのデータを収集すること。監視点検する項目・内容は別表2第1項のとおりとする。
 - ② 前項の点検対象項目について変調状態が確認された場合は、必要に応じて技術者を派遣して確認、是正作業を行うこと。
 - ③ エレベータの運行状態のデータにもとづく変調の有無については、毎月遠隔監視点検報告書を提出すること。遠隔監視点検報告書の記載内容は別表2第2項のとおりとする。
また、変調発生後の処置のために現場で作業を行ったときは、その作業に応じて作業報告書または点検報告書を提出すること。
 - (3) 異常監視・直接通話サービス
 - ① エレベータについて次の事象が発生したときは、遠隔監視装置からの通報に基づき、必要に応じた適切な処置をとること。
 - i) 閉じ込め故障
 - ii) 起動不能故障
 - iii) 安全装置動作
 - iv) 電源系統異常
 - v) 戸開閉不良
 - ② 前号各号の事象が発生したとき、またはかご内より非常呼び出しボタンが押し続けられたときは、受託者の事業所にて同かご内の乗客と直接通話し、必要な連絡にあたること。
 - ③ 異常通報の内容は、毎月遠隔監視点検報告書を提出すること。また、異常通報に基づく処置のために現場で作業を行ったときは、その作業に応じて作業報告書または点検報告書を提出すること。

(4) 消耗部品の供給

- ① 作業に必要な部品のうち、消耗部品（通常の使用における摩耗・劣化により、補完・交換を頻繁に行う小部品・油脂類等）を供給すること。
- ② 受託者が供給する部品の範囲は、以下のとおりとする。
 - i) 点検用油脂類（巻上機ギアオイル、油圧機器作動油は除く。）
 - ii) 主リレー用コンタクト類
 - iii) かご内蛍光灯ランプ（ネオン管、インテリア照明、その他の特殊照明は除く。）
 - iv) 小ヒューズ類
 - v) ビス、ナット、ワッシャー

(5) 緊急時の対応

- ① 委託者からエレベータについて故障等の緊急事態が発生した旨の通報を受けたときは、すみやかにエレベータの運行状態を確認するとともに、事態に応じた適切な処置をとること。ただし、委託者及びエレベータの利用者の責に帰すべき事由により技術者が出向処置した場合は、委託者又は当該利用者にて、その出向処置に要する費用を負担するものとする。
- ② 前項において、閉じ込め故障を確認したときは、エレベータを遠隔操作することにより救出を図ること。ただし、通信障害その他技術的な障害がある場合、もしくは遠隔操作時の安全が確保できない場合は、この限りではない。
- ③ 前各項の処置をとったときは、その結果について作業報告書を提出すること。

(6) 法令に基づく検査

建築基準法第 12 条第 3 項に規定する定期検査について、法定の有資格者を派遣して検査を行い定期点検報告書を作成の上、委託者に提出すること。

(7) 維持管理のための情報提供

エレベータの日常の維持管理のために、安全確保および正しい利用方法について案内すること。また、関係法令改正の連絡等の情報提供を行うこと。ただし、受託者がエレベータの管理上の責を負うものではない。

(8) その他

受託者は、善良な管理者の注意をもって業務を遂行し、この仕様書に定めのないものについては委託者の指示に従うこと。

別表 1

点検項目

箇所	点検対象	点検内容
外観 (運転状態)	走行時の乗り心地	起動、加速、減速、着床状態 定格速度の測定
	走行時の異常音、異常振動	異常音、異常振動の有無
	着床時の段差	段差発生の有無
制御機器 (昇降路内)	受電盤	各盤の固定状態
		ヒューズの劣化の有無
		メインリレー接点の状態
		リレー端子・端子台の緩み確認
		メインブレーカの固定状態、損傷の有無
		イベントコードの確認、分析
		インバータ、コンバータの清掃
		絶縁抵抗測定
		CPUバッテリー劣化(定期交換)
	電動機	汚れ、異常音、異常温度の有無
巻上機	汚れ、異常音、軸受部の温度・液漏れ、防震ゴムの状態 ギアオイルの量と汚れ、油漏れ	
電磁ブレーキ	擦過音、吸引・釈放音の異常の有無	
	Wナット・ロックナット・六角ボルトの緩み確認	
	ブレーキまわりの被油、被水、汚れ、錆 ブレーキ締結力の確認	
パルスエンコーダ	固定状態、板パネの変形、ゴミ・油の付着	
昇降機	主ワイヤーロープ	メインロープのテンション確認
		メインロープの摩耗、素線切れ
		割ピン・Wナット・回り止めの状態
	ガバナロープ	ガバナロープの摩耗、素線切れ
	調速機	調速機の作動速度測定
		ガバナプーリの条痕、異音、ロープ外れ止めの取付状態
		ガバナテンションプーリブラケットの位置確認
	移動ケーブル	ケーブルの捻れ、変形、接触痕の有無
	ガイドレール	レール・ブラケット・フィッシュプレートの固定状態
	着床装置・プレート	インダクターの取付状態、プレートとの隙間
	上下リミットスイッチ	スイッチの動作確認、配線状態の確認
		ローラー注油、亀裂・剥離・摩耗の有無の確認
	つり合いおもり	緩衝器とのクリアランス確認
		固定ボルトの緩み確認
		ガイドシューの損傷、剥離、摩耗
	シーブ	メインシーブの摩耗
		オーバーヘッドシーブの条痕、亀裂、取付状態
		つり合いおもりシーブの条痕、亀裂、取付状態
		カーシーブの条痕、亀裂、取付状態
コンペンチェーン	走行異常(周辺機器との干渉の有無)	
	最下端位置の確認	
	指示、取付部の状態確認	
昇降路内環境状態	被水、雨水侵入、ヒビ割れ	
	各機器の外観目視点検	
ピット	ピット内環境状態	浸水、異物の有無
	ピット内機器の状態	緩衝器の固定状態、錆、油漏れ 各機器の外観目視点検
かご	かご内室意匠・状態	損傷、腐食、変色、変形、目地のガタ・隙間
	かご内表示器・ボタン	機能・動作確認
	かご内照明	球切れ、ちらつき、グロー球の劣化
	かご内ファン	動作確認、異常音の有無
	除菌イオン発生装置	動作確認、電極部の清掃

別表 1

点検項目

箇所	点検対象	点検内容
かごまわり	ドアの開閉装置	開閉動作の異常の有無
		ドアセフティシューの反転動作
		光電センサーの作動状態、レンズ清掃
		かごドアまわり点検・注油・清掃
		かごドアモータ・ブラシ・プーリの状態
		Vベルト・歯付きベルトの損傷、亀裂、油脂付着、緩み
		かごドアハンガーボルトの緩み
		アップスラストローラのギャップと緩み
		ドアとドア・ドアとエントランスの隙間確認
		ドア閉安全装置の作動
	結線ボックス・ドアポジションボックス	配線状態、コネクタの状態確認
	給油器	給油器オイルの飛散・レールへの回り・給油
	非常止め装置	セフティとレールのギャップ、ボルトの緩み
	ガイドシュー	ガイドシューの損傷、剥離、摩耗
荷重検出装置	荷重検出装置の作動状態	
	ロードセルの作動状態	
かご下防振ゴム	かご下防振ゴムの劣化、損傷	
乗場	乗場意匠	乗場まわり各機器の外観点検
	表示器・ボタン	機能・動作確認
	インターロック	スイッチ取付ボルトの緩み、沈み代
		ロックのギャップ、コンタクタープレートの状態
	ドア開閉状態	乗場ドアまわり点検・注油・清掃・自閉力の確認
		ドアトラックレール清掃
		乗場ドアハンガーボルトの緩み
		アップスラストローラのギャップと緩み
		かご・乗場各キャッチデバイスの隙間、係合確認
		ドア連動装置・エアコードの状態
非常解錠装置の取付状態		
ドアとドア・ドアと三方枠の隙間		
非常装置	停電灯	停電灯の点灯状態
	外部連絡装置	インターホンの通話テスト
		外部非常ベル（ブザー）の鳴動状態
		かご非常ベル（ブザー）の鳴動状態
遠隔監視装置	遠隔監視装置の機能テスト、通話テスト	
付加装置	地震時管制運転装置	地震感知器の動作確認
	停電時自動着床装置	着床装置の動作確認
	火災時管制運転装置	信号等による動作確認
	冠水時管制運転装置	フロートスイッチの動作確認
	遮煙エレベータ乗場ドア	気密材の変形、損傷、取付ボルトの緩み確認
		耐火ブラケットの取付状態
		ドアまわりの規定寸法の確認
	音声合成アナウンス	音声アナウンスの放送状態
監視盤	監視盤の表示ランプの確認	

別表 2
遠隔監視点検項目

1. 遠隔監視点検内容

項 目	内 容
制御関連機器	制御装置温度
	接触器の動作状態
	制御機器の動作状態
	ブレーキ動作状態
かご・乗場機器	戸の開閉状態
	押しボタンの動作状態
	ゲートスイッチの動作状態
	ドアスイッチの動作状態
	安全スイッチの動作状態
	遠隔監視装置の動作状態
昇降路内機器	はかり装置の動作状態
	安全スイッチの動作状態
走行性能	起動状態
	加速状態
	一定速度走行状態
	減速状態
	着床状態
	各階停止運転による異常確認
運行計測	運転回数
	走行距離・運転時間
	戸の開閉回数
	かご照明点灯時間
	映像確認用カメラ動作状態

2. 報告書記載内容

状態監視結果	かご内照明点灯時間
運行回数	かご内照明点灯回数
運転時間	異常の有無
戸の開閉回数	遠隔監視受診記録

嬉野台生涯教育センター消防設備点検及び保守業務委託仕様書

1 業務内容

消防用設備等機能保全を図るため消防法第17条の3の3による点検及び保守業務を実施する。

2 契約期間

令和5年4月1日から令和6年3月31日

3 履行場所

加東市下久米1227-18

兵庫県立嬉野台生涯教育センター

4 対象設備等

別紙のとおり

5 保守点検内容及び報告

(1) 保守

- ① 消防設備に異常があった場合、直ちに出向き、それを調整し良好な状態を維持するものとする。
- ② 設備の全部又は一部の変更撤去あるいは修理をする時及び設備の機能に影響を来す他の工事をする時は、設備の機能保全に協力しなければならない。
- ③ 設備を増設した場合は、当該年度はその部分は点検の対象としないが、保守業務は①に基づき行うものとする。

(2) 点検

- ① 総合・機器点検とし、委託者（以下「甲」という。）の指定する月に実施する。
（総合・機器点検1回、機器点検1回の年2回）
- ② 甲は、受託者（以下「乙」という。）の実施する点検に立会い、点検の終了を確認する。

(3) 報告等

乙は、消防庁告示第3号に定める様式による報告、維持台帳の作成・記帳及び消防署長への定期報告書の作成を行う。

6 その他

- (1) 甲は、該当設備の機能に障害または支障を来すおそれのある事項を発見したとき、あるいは移設、増設または改修等の必要が生じたときには、速やかに乙に連絡し、調整、補修及び交換等について、甲乙協議するものとする。
- (2) 乙は、消防設備点検者を選定し、甲に書面をもって通知し承認を受けなければならない。
- (3) 点検者は、使用人等の身分及び規律の維持に関して一切の責任を負い、充分指導監督しなければならない。

別紙

ア	自動火災報知設備点検	
(ア)	受信機	7面
(イ)	副受信機	1面
(ウ)	表示器	32個
(エ)	音響設備	36個
(オ)	感知器	
	・スポット差動型	315個
	・定温型	57個
	・煙型	31個
	・分布型空気管	11個
イ	誘導灯設備点検	99個
ウ	非常警報器具点検	
	アンプ・スピーカー等点検	一式
エ	消火器点検	
	外観・機能点検	112本
オ	屋内・屋外消火栓設備点検	
	放水・圧力テスト等	一式
カ	非常電源設備点検	一式
キ	防火扉点検	一式

嬉野台生涯教育センター 夜間等機械警備業務委託仕様書

1. 件 名

嬉野台生涯教育センター 夜間等機械警備業務委託

2. 契約委託期間

令和5年1月1日～令和6年3月31日

3. 警備目的

警備対象物件における火災、盗難等を防止するとともに、違法・不当な行為を排除し、もって同建物の円滑な運営に寄与することを目的とする。

4. 警備方法

機械警備システム（異常感知、自動通報装置及び警備員による対応を組み合わせた警備活動）

5. 警備任務

- ① 不審者、不法行為者の早期発見と措置
- ② 警備対象物件の異常発見、通報及び緊急措置
- ③ 火災の早期発見と初期消火の対処
- ④ 盗難の早期発見と措置
- ⑤ 警備機器類の正常作動確認、監視及び異常発報時の措置
- ⑥ 機械警備システム用に警備対象物件に設置された異常感知装置及び自動通報装置（以下警備用装置類と言う）の点検操作
- ⑦ その他不測事態の防止と措置
- ⑧ その他警備委託者側の指示事項

6. 警備実施要領

- ① 警備用装置類は、発生した異常事態を受託者の監視センター（以下監視センターと言う）に自動的に通報する機能を有する。
- ② 発生した異常事態が侵入盗難に関わる場合、その事態を阻止するための最適な措置を速やかに講じることを目的として、主たる異常感知装置は発生事態の詳細についての的確かつ迅速に監視センターに通報する。
- ③ 監視センターでは、警報受信機を常時監視し、警備対象物件に異常が発生したことを感知した時は、その異常の状況を的確かつ迅速に判断し、警備対象物件の安全を維持するための最良の措置を実施する。受託者の巡回警備員の出動が必要と判断した場合は、これを速やかに急行させるとともに、必要事項を指示する。
- ④ 監視センターでは、異常事態の確認の結果必要と認めた時は、あらかじめ届け出を受けた委託者の責任者へ電話にて緊急連絡するとともに、必要に応じて所轄消防署並びに警察署に通報する。
- ⑤ 受託者の巡回警備員は、受託者の監視センターと連携を密にし、監視センターの指示に基づき警備対象物件の異常事態に的確に対処し、警備目的を達成する。
- ⑥ 警備対象物件に到着した受託者の巡回警備員は、異常事態確認後、その拡大防止措置をとり受託者の監視センターにその状況を報告すること。
- ⑦ 委託者は、警備対象物件の防火、防犯その他の事故防止上必要な措置を行い、宿直者は最終退出者が退出した後、警備対象物件の施錠確認を行い、警備システムを「ON（警戒）」の状態にする。これにより警備対象物件の機械警備を開始する。
- ⑧ 委託者の宿直者は、警備対象物件の機械警備を「OFF（警戒解除）」の状態にして解錠する。これにより警備対象物件の機械警備を終了する。

7. 警備仕様

- ① 使用する回線は、万一その回線が切断された場合でも、監視センターにおいて認知できる機能を有すること。
- ② 委託者による機械警備システムの操作運用（機械警備のON（警戒）およびOFF（警戒解除））においては、容易な複製が不可能である専用のカードを利用すること。
- ③ 自動通報装置は、停電時においても30分以上のバックアップ機能を有すること。また、バッテリーの容量については適宜チェックできる機能を有すること。
- ④ 自動通報装置においても、計画的な不法行為や犯罪行為を防止するため、警報装置が接続されている電話回線が使用中または外部からの通話を受信している状態にあっても、これらの通話を強制的に遮断し、警報信号を優先して監視センターに送出することができる機能を有すること。
- ⑤ 盗難に関する異常が発生した場合にそれを阻止するための的確かつ迅速な措置を講じるために、警備用装置類は、異常発生場所の識別および異常発生原因等の状況を警備データにて監視センターへ通報できること。
- ⑥ 警備用主装置は、警戒状態への移行操作を行うための専用カードを紛失した際、不正防止のためのデータ変更が速やかに実施できるものであること。
- ⑦ 監視センターでは、異常の発生がない限り、警備対象物件の内部の状況は見聞きできない機能となっていること。
- ⑧ 警備用通信回線及びそれに付随する通信機器等は受託者で用意するものとし、それに係る工事費・通信料等は受託者負担とすること。

8. 報告

受託者は警備対象物件の異常対処の内容について、速やかに委託者に報告書を提出すること。

9. 鍵の預託

警備に必要な鍵、カード等は、委託者、受託者相互に預託するものとし、授受はそれぞれ預かり受領書により、その所在を確認できるようにするとともに厳重に取り扱い保管し、契約終了後は速やかに返却することとする。

10. 損害賠償

業務遂行中、受託者の過失により委託者が損害を被った場合、受託者は対人賠償、対物賠償あわせて1事故10億円を限度として賠償の責任を負う。

11. 業務提供時間

防犯サービスを受諾する場合の業務提供時間は毎日17：30から翌朝8：45までとする。ただし、12月29日から1月3日までは終日とする。

12. その他

- ・委託に含まれるメンテナンスは、警報機器の点検・修理または取替は委託に含むものとする。ただし通常の使用において不都合が生じたものに限る。
- ・建物等の増改築工事、諸法規の改定または官公署の命令もしくは要請により警報機器の追加・移動または変更等の必要が生じた場合は委託に含まない。
- ・本仕様書に定めのない事項が生じた時は、その都度、委託者と受託者が協議して取り決めるものとする。

嬉野台生涯教育センター 各種点検報告書

1 電気設備

- ・年次点検（令和4年度分）
- ・月次点検（令和4年9月分～令和5年8月分）

2 空調設備・ボイラー設備

- ・定期点検（令和4年12月分、令和5年5月分）

3 給排水設備等

(1) 浄化槽保守点検及び清掃

- ・定期点検（令和4年8月分～令和5年7月分）

(2) 簡易専用水道検査

- ・年次点検（令和5年度分）

(3) 貯水槽清掃・飲料水検査

- ・年次点検（令和4年度分）

3 消防用設備等

- ・定期点検（令和4年11月分、令和5年2月分）

4 昇降機設備

- ・定期点検（令和4年10月分、令和5年1月分、4月分、7月分）
- ・遠隔点検（令和4年9月分～令和5年8月分）

5 危険物貯蔵所

- ・定期点検（令和3年6月分）

6 野外体験活動施設

- ・定期点検（令和4年度分）

兵庫県立嬉野台生涯教育センター 様

所在地 兵庫県加東市下久米1227-18

- 定期点検
- 竣工検査
- 調査

自家用電気工作物 竣工検査報告書

定期・精密点検

1. 電気工作物の施設場所

所在地 兵庫県加東市下久米1227-18

事業所名 兵庫県立嬉野台生涯教育センター 電話 0795-44-0711

2 施設の概要

受電電圧 6.6 KV. 契約電力 391 kW. 配電線相短絡容量 25.4 MVA

変圧器 11 台. 840 kVA. 高圧コンデンサ 6 台.

非常用予備発電装置 1台. 55kVA

3. 点検・試験項目

(1) 単線結線図

(2) 点 検

(A) 一般状況・電線・母線・ケーブル

(B) 電力ヒューズ・断路器・高圧カットアウト

(C) 高圧開閉器

(D) 高圧遮断機

(E) 配 電 盤

(F) 変 圧 器

(G) 高圧コンデンサ・直列アクトル

(H) 避 雷 器

(I) 負 荷 設 備

(J) 非常用予備発電装置

(k) 蓄積池装置・充電装置

(3) 接地抵抗測定

(4) 絶縁抵抗測定

(5) 絶縁耐力試験

(6) 直流絶縁診断試験成績表

(7) 地絡継電器試験

(8) 過電流継電器試験

(9) 過・不足電圧継電器試験

(10) 漏電火災警報器試験

(11) 漏電遮断器試験

(12) 絶縁油試験

(13) 2.3 E 継電器試験

(14) 非常用予備発電装置試験

(15) 蓄電池装置・充電装置試験

4. 点検・検査実施日

前回 2021年 11月 24日 / 12月 29日

2022年 12月 28日 水曜日 天候 晴 気温 8℃ 湿度 40%

2022年 12月 29日 木曜日 天候 晴 気温 7℃ 湿度 65%

5. 実 施 者

測定機器一覧表

測定機器名	定 格	製 造 者	型 式	製造番号	校正年月 (製造年)
高圧絶縁測定器	1000V	ムサシ	D1-26M	699963	2021.11
低圧絶縁測定器	125V	共立	3145A	0136395	2018.4
接地抵抗測定器	10 100 1000Ω	日置	3151	080707 777	2022.2
総合リレー試験器	OCR DGR GR	双興	BCT -25K	1130100 90	2022.2
地絡・漏電試験器	0 ~ 1.5A	双興	GER- 2000C	-	2018.9
位相特性試験器	0 ~ 1200 V 0 ~ 6 A	ムサシ	RDF -2L	101037	2022.2
コンデンサチェッカー	DC 1000V	双興	CC-50 MM	0373004	2011.11
高低圧音響検電器	80V~7000V	共立	KEW 5720	-	2018.9
電圧・電流計	30 120 300V	共立	1110	-	2018.9
油酸化測定器	-	三美工業	三美式	695	(1976)
油耐圧試験器	100V 500VA	双興電機	AMT- 106	22A10058 5	(2022).
耐圧トランス	150V-15000V 2kVA	"	R-1520 IP-R	487197	(1974)
保護継電器試験器	100V 2KVA	"	IP-R2	488099	2018.9
クランプメーター	40m 400m 400A	マルチ計測器	MCL- 400IR	U0099	2021.3
騒音計	30 130db	ムサシ	SL -1370	1308072 77	2019.9
振動計	-	昭和測定	1332B	114021 -91	2019.9
回転計	6~99999rpm	カスタム	RM2000	-	2019.9
バッテリー・クーラント テスター	-	ATAGO	UFB -N2E	-	(2014)

主要設備機器一覧表

()

ケーブル						
品目	製造者	種数	且長 m	製造年	端末処理業者	摘要
高圧ケーブル (引込み)	フジクラ	CET38	110	2015		
高圧ケーブル (開閉所送り)		CVT38		1997		
高圧ケーブル (汚水処理)	フジクラ	CET22	230	2015		
高圧ケーブル (スホーツ管理棟)		CVT22	130	2005		
高圧ケーブル (リター棟)						
高圧ケーブル (体育館)						
設備機器						
機器名	設置場所	定 格	製造者	型式	製造番号	製造年
DS (主)	電気室					
DS (送り)	"					
CT	"	100/5	三菱	CD-40NA	F7Q681 F7Q676	2015 2015
CT (送り)	"	50/5	三菱	CD-40NA	53010 53100	2007 2007
VT	"	6600/110V	三菱	PD-50HF	42593 43710	2007 2007
VCB	"	7.2kV 400A	フジ	HA08C-H5	F2273	2007/4
VCB (送り)	"	7.2kV 400A	フジ	HA08C-H5	F1624	2007/3
OCR	"		三菱	MOC- A1T-R	7E102SF3 888	2007
OCR (送り)	"		三菱	MOC- A1T-R	7E102SF3 882	2007
DGR	"		三菱	MDG- A1V-R	7E201SF3 056	2007

主要設備機器一覽表

()

ケーブル						
品目	製造者	種数	且長m	製造年	端未処理業者	摘要
設備機器						
機器名	設置場所	定 格	製造者	型式	製造番号	製造年
LBS (SC1用)	電気室	7.2kV 200A	三菱	SCL- EHS1R	A1000001 1	2007
PC (SC1用)	"	6.9kV 30A	高岳	PC-6	-	1979
PC (SC3用)	"	6.9kV 30A	高岳	PC-6	-	1979
PF (TR1用)	"	G30	三菱	CL	-	同
PF (TR2用)	"	G30	三菱	CL	-	同
PF (TR3用)	"	G30	三菱	CL	-	同
PF (TR4用)	"	T20	三菱	CL	-	同
PF (SC1用)	"	G20	三菱	CL	-	同
ZPC	不使用 電気室	6600V 50/60Hz 0.001 μ F	光商工	ZPC-1	930262	1979

主要設備機器一覽表

()

ケーブル						
品目	製造者	種数	且長m	製造年	端末処理業者	摘要
設備機器						
機器名	設置場所	定格	製造者	型式	製造番号	製造年
LBS (主)	キュービクル 汚水処理		三菱	SCL- EHS1R	44236800 1	2015
PF	"	G50A	三菱	CL	-	2015
LBS (送り)	"		三菱	SCL- EHS1R	1316YR 0030	2015
PF	"	30A	三菱		-	
VT	"	6600/110V	三菱	PD-50HF	F6F975	2015
CT	"	20/5A	三菱	CD-40ANA	F1E552 F2H272	2015
ZCT	"			MZT-68	BC536	2015
TR	"	3φ 50kVA	日立	SOU- YDCR4	H2129715 01	2015
TR	"	1φ 20kVA	日立	SOU- CR3	H2013915 01	2015
PC	"	30A	NKE	FC-30C	-	2015
PC	"	30A	NKE	FC-30C	-	2015
SC	"	12kvar	三菱	LV66CC 010R26	FM11962	2015
SR	"	213V 0.766kvar	三菱	LR-3B	FN93363	2015
LBS (SC用)	"		三菱	SCL- EHS1R	44236800 1	2015
PF	"	5A	三菱	CL	-	2015
OCR	"		三菱	MOC-A1V- R	10115061 128	2015
DGR	"		三菱	MDG-A1V- R	20115060 172	2015

点 検 表

一般状況・電線・支持物・母線・ケーブル ()

実施日	2022年 12月 28日 水曜日 天候 晴 気温 8℃ 湿度 40%			
一般状況				
場所・施設区分	電気室	開閉所		
1. さく・へいの状況	○	○		
2. 各種標識の取付	○	○		
3. 出入口施錠	○	○		
4. 扉・窓の状況・雨漏り	○	○		
5. キュービクルの状況	○	○		
* 塗装・換気・結露				
6. 小動物の侵入防止	○	○		
7. 消火設備	○	○		
8. 電力ヒューズの予備	○	○		
9. フック棒	○	○		
10. 掃除・整頓	○	○		
電線・支持物・母線				
場所・施設区分	架空			
1. 電線高さ・離隔・緩み	○			
2. 電柱・支柱・支線・保護網	○			
3. がいし破損・バインド外れ	○			
4. 接続部クランプ	○			
5. 電線類の過熱損傷	○			
6. 汚 損	○			
ケーブル				
場所・施設区分	地中	地中		
1. 端未の状態（処理・き裂）	○	○		
2. 曲げ半径	○	○		
3. 外傷・腐食	○	○		
4. 施設状況（埋設・架線たるみ）	○	○		
5. 施設表示	○	○		
6. 無断掘削	○	○		
7. ハンガー間隔・外れ	○	○		
8. 接地線の取付	○	○		
記 事				

点 検 表

一般状況・電線・支持物・母線・ケーブル ()

12

実施日	2022年 12月 28日	水曜日	天候 晴	気温 8℃	湿度 40%
	2022年 12月 29日	木曜日	天候 晴	気温 7℃	湿度 65%
一般状況					
場所・施設区分	リター棟	体育館	汚水処理	スポーツ管理棟	
1. さく・へいの状況	○	○	○	○	
2. 各種標識の取付	○	○	○	○	
3. 出入口施錠	○	○	○	○	
4. 扉・窓の状況・雨漏り	○	○	○	○	
5. キュービクルの状況	○	○	○	○	
* 塗装・換気・結露					
6. 小動物の侵入防止	○	○	○	○	
7. 消火設備	○	○	○	○	
8. 電力ヒューズの予備	○	○	○	○	
9. フック棒	○	○	○	○	
10. 掃除・整頓	○	○	○	○	
電線・支持物・母線					
場所・施設区分					
1. 電線高さ・離隔・緩み					
2. 電柱・支柱・支線・保護網					
3. がいし破損・バインド外れ					
4. 接続部クランプ					
5. 電線類の過熱損傷					
6. 汚 損					
ケーブル					
場所・施設区分	地中	地中	地中	地中	
1. 端未の状態（処理・き裂）	○	○	○	○	
2. 曲げ半径	○	○	○	○	
3. 外傷・腐食	○	○	○	○	
4. 施設状況（埋設・架線たるみ）	○	○	○	○	
5. 施設表示	○	○	○	○	
6. 無断掘削	○	○	○	○	
7. ハンガー間隔・外れ	○	○	○	○	
8. 接地線の取付	-	-	-	○	
記 事					

点 検 表

電力ヒューズ・断路器・高圧カットアウト ()

13

実施日	2022年 12月 28日 水曜日 天候 晴 気温 8℃ 湿度 40%			
品 名	D S	L B S	P C	
設 置 場 所	電気室 キュービクル	電気室 キュービクル	電柱 電気室 キュービクル	
一 般				
1. 操 作 具 合	○	○	○	
2. 開 路 時 の 離 隔	○	○	○	
3. 容 量 の 適 正	○	○	○	
4. 取 付 状 態	○	○	○	
が い し				
1. 汚 損	○	○	○	
2. 損 傷・き裂	○	○	○	
接 触 部				
1. 接 触 部	○	○	○	
2. ロック状況	○	○	○	
3. セパレータの取付状態				
接 続 端 子				
1. 締 付 状 況	○	○	○	
2. 過 熱 変 色	○	○	○	
記 事				

点 検 表

高 圧 開 閉 器

14

実施日	2022年 12月 28日 水曜日 天候 晴 気温 8℃ 湿度 40%			
種 類	P A S			
設 置 場 所	引込柱			
製 造 番 号	005127			
一 般				
1. 発錆・汚損	○			
2. 漏 油	-			
3. 過 熱	-			
4. 接続部付状態	○			
5. リードとケースの隔離	○			
6. リードの線間距離	○			
7. 操作紐の状態	○			
が い し				
1. き裂	○			
2. 汚 損	○			
内 部				
1. 接触子のあれ				
2. 接触子の投入深さ				
3. 接触部の接触状態				
4. 絶縁ロッドの状態				
5. ゆ る み				
6. 油 量				
7. パッキンの取付状態				
接 地 線				
1. 取付状態, 太さ	○			
記 事				

点 検 表

高 圧 開 閉 器

15

実施日	2022年 12月 28日 水曜日 天候 晴 気温 8℃ 湿度 40%			
種 類	P A S	P A S	P A S	
設 置 場 所	開 閉 所	開 閉 所	開 閉 所	
製 造 番 号	E26955	269836	269837	
一 般				
1. 発 汚 損	○	○	○	
2. 漏 油	-	-	-	
3. 過 熱	○	○	○	
4. 接 続 部 付 状 態	○	○	○	
5. リードとケースの離隔	○	○	○	
6. リードの線間距離	○	○	○	
7. 操作紐の状態	○	○	○	
が い し				
1. き 裂	○	○	○	
2. 汚 損	○	○	○	
内 部				
1. 接 触 子 の あ れ	○	○	○	
2. 接 触 子 の 投 入 深 さ	○	○	○	
3. 接 触 部 の 接 触 状 態	○	○	○	
4. 絶 縁 ロ ッ ド の 状 態	○	○	○	
5. ゆ る み	○	○	○	
6. 油 量	○	○	○	
7. パッキングの取付状態	○	○	○	
接 地 線				
1. 取付状態.太さ	○	○	○	
記 事				

点 検 表

高 圧 開 閉 器

実施日	2022年 12月 28日	水曜日	天候 晴	気温 8℃	湿度 40%
	2022年 12月 29日	木曜日	天候 晴	気温 7℃	湿度 65%
種 類	V C B	V C B	V C B		
設 置 場 所	電気室	電気室	リ-タ'-棟		
製 造 番 号	F 2273	F1624	6QA732		
一 般					
1. 遮断容量の適正	○	○	○		
2. 開閉状態の表示	○	○	○		
3. 操作具合	○	○	○		
4. 取付状態	○	○	○		
5. 汚損・腐食	○	○	○		
6. 漏 油	○	○	○		
7. 過 熱	○	○	○		
8. 接続部締付状態	○	○	○		
9. 操作機構	○	○	○		
内 部					
1. 接触子のあれ					
2. 接触子の投入深さ					
3. 接触子の接触状態					
4. 絶縁ロッドの状態					
5. ゆ る み					
6. 油 量					
7. パッキンの取付状態	○	○	○		
接 地 線					
1. 取付状態・太さ	○	○	○		
記 事					

点 検 表

配 電 盤

17

実施日	2022年 12月 28日 水曜日				天候	晴	気温	8℃	湿度	40%
名 称										
設 置 場 所	電気室	開閉所	汚水処理	スホ ^o -ツ管理棟						
計 器										
1. 零点調整・指示	○	○	○	○						
2. 汚損・損傷	○	○	○	○						
3. 端子ゆるみ	○	○	○	○						
表 示 灯	-	-	-	-						
1. 点灯状態										
2. 汚損・損傷										
3. 端子ゆるみ										
切 替 ス イ ッ チ										
1. 切替状態	○	○	○	○						
2. 汚損・損傷	○	○	○	○						
3. 接触状態・ゆるみ	○	○	○	○						
計器用変成器、零相変流器										
1. 変成比の適正	○	○	○	○						
2. 構造の適正	○	○	○	○						
3. ヒューズの適正	○	○	○	○						
4. 取付状態	○	○	○	○						
5. 腐食・発錆・汚損・損傷	○	○	○	○						
6. ゆるみ・過熱	○	○	○	○						
7. 接地線の取付	○	○	○	○						
低圧開閉器、遮断器										
1. 接触状態	○	○	○	○						
2. 取付状態	○	○	○	○						
3. 過 熱	○	○	○	○						
4. 発錆・汚損	○	○	○	○						
5. 容器の適正	○	○	○	○						
6. 回路表示	○	○	○	○						
記 事										

点 検 表

配 電 盤

18

実施日	2022年 12月 29日 木曜日 天候 晴 気温 7℃ 湿度 65%			
名 称				
設 置 場 所	リ-タ'-棟	体育館		
計 器				
1. 零点調整・指示	○	○		
2. 汚損・損傷	○	○		
3. 端子ゆるみ	○	○		
表 示 灯	-	-		
1. 点灯状態				
2. 汚損・損傷				
3. 端子ゆるみ				
切 替 ス イ ッ チ				
1. 切替状態	○	○		
2. 汚損・損傷	○	○		
3. 接触状態・ゆるみ	○	○		
計器用変成器、零相変流器				
1. 変成比の適正	○	○		
2. 構造の適正	○	○		
3. ヒューズの適正	○	○		
4. 取付状態	○	○		
5. 腐食・発錆・汚損・損傷	○	○		
6. ゆるみ・過熱	○	○		
7. 接地線の取付	○	○		
低圧開閉器、遮断器				
1. 接触状態	○	○		
2. 取付状態	○	○		
3. 過 熱	○	○		
4. 発錆・汚損	○	○		
5. 容器の適正	○	○		
6. 回路表示	○	○		
記 事				

点検表変圧器 (電気室)

実施日	2022年 12月 28日 水曜日 天候 晴 気温 8℃ 湿度 40%			
設置場所	電気室	電気室	電気室	電気室
相数 P	3P	3P	3P	1P
容量 KVA	100	150	100	100
製造番号	TP700005	TP720008	IP700007	TP200010
使用タップ KV	6600	6600	6600	6600
製造者	アイチ	アイチ	アイチ	アイチ
製造年月	2005	2005	2005	2005
型式				
油 量 L				
コンサバーター油 量				
一 般				
1. 漏 油	○	○	○	○
2. 汚 損・腐 食	○	○	○	○
3. 破 損・き 裂	○	○	○	○
4. 温 度 計 指 示				
5. 取 付 状 態	○	○	○	○
内 部				
6. 油 量				
7. ゆ る み				
8. スラッジ・油 漏 れ				
接 続 端 子				
9. 締 付 状 態	○	○	○	○
10. 過 熱 変 色	○	○	○	○
接 地 線				
11. 取 付 状 態・太 さ	○	○	○	○
12. パ ッ キ ン グ の 状 態	○	○	○	○
絶 縁 油 試 験				
破 かい 電 圧 (K V)				
2 回 目				
3 回 目				
4 回 目				
5 回 目				
平 均				
酸 価 値				
判 定	良 2020年	良 2020年	良 2020年	良 2020年
年 度 測 定 値	0.02~0.04	0.02~0.04	0.02~0.04	0.02~0.04
備 考	負 荷 70% 以 下	負 荷 70% 以 下	負 荷 70% 以 下	負 荷 70% 以 下
酸 化 値 基 準	0.1 以 下 良	0.2 ~ 0.1 要 注 意	0.2 以 上 不 良	
耐 圧 値 基 準	2.3 K V 以 上 良	2.3 ~ 1.5 K V 要 注 意	1.5 K V 以 下 不 良	

実施日	2022年 12月 28日 水曜日 天候 晴 気温 8℃ 湿度 40%			
設置場所	キュービクル	キュービクル		
相数 P	3P	1P		
容量 KVA	50	20		
製造番号	H21297151	H2013915		
使用タップ KV	6600	6600		
製造者	日立	日立		
製造年月	2015	2015		
型式				
油量 L				
コンサベーター油量				
一般				
1.漏油	○	○		
2.汚損,腐食	○	○		
3.破損,き裂	○	○		
4.温度計指示				
5.取付状態	○	○		
内部				
6.油量				
7.ゆるみ				
8.スラッジ・油漏れ				
接続端子				
9.縮付状態	○	○		
10.過熱変色	○	○		
接地線				
11.取付状態,太さ	○	○		
12.パッキングの状態	○	○		
絶縁油試験				
破かい電圧 (KV)				
2回目				
3回目				
4回目				
5回目				
平均				
酸価値	0.04~0.06	0.04~0.06		
判定	良 2018年	良 2018年		
年度測定値				
備考	負荷70%以下	負荷70%以下		
酸化値基準	0.1以下 良	0.2~0.1 要注意	0.2 以上不良	
耐圧値基準	23KV以上 良	23~15KV 要注意	15KV以下不良	

点検表変圧器 (スホーツ管理棟)

実施日	2022年 12月 28日 水曜日 天候 晴 気温 8℃ 湿度 40%			
設置場所	キュービクル	キュービクル		
相数 P	3P	1P		
容量 KVA	20	20		
製造番号	HX058209	H1403107		
使用タップ KV	6600	6600		
製造者	タ'イハン	タ'イハン		
製造年月	2006	2005		
型式	SP-PTA	SE-PDA		
油量 L				
コンサベーター-油量				
一般				
1.漏油	○	○		
2.汚損・腐食	○	○		
3.破損・き裂	○	○		
4.温度計指示				
5.取付状態	○	○		
内部				
6.油量	○	○		
7.ゆるみ	○	○		
8.スラッジ・油漏れ	○	○		
接続端子				
9.締付状態	○	○		
10.過熱変色	○	○		
接地線				
11.取付状態・太さ	○	○		
12.パッキングの状態	○	○		
絶縁油試験				
破かい電圧 (KV)				
2回目	34	23		
3回目	46	21		
4回目	45	46		
5回目	54	37		
平均	44.7 2022年	31.7 2022年		
酸価値	0.04~0.06	0.04~0.06		
判定	良 2022年	良 2022年		
年度測定値	0.04~0.06	0.04~0.06		
備考	負荷70%以下	負荷70%以下		
酸化値基準	0.1以下 良	0.2~0.1 要注意	0.2以上不良	
耐圧値基準	23KV以上 良	23~15KV 要注意	15KV以下不良	

点検表変圧器 (リーダー棟)

実施日	2022年 12月 29日 木曜日 天候 晴 気温 7℃ 湿度 65%			
設置場所	キュービクル	キュービクル		
相数 P	3P	1P		
容量 KVA	100	150		
製造番号	H78393601	R180448		
使用タップ KV	6600	6600		
製造者	日立	三菱		
製造年月	2006	2015		
型式	SOU-YDCRI	SF-1R		
油 量 L				
コンサベーター油量				
一 般				
1.漏油	○	○		
2.汚損・腐食	○	○		
3.破損・き裂	○	○		
4.温度計指示				
5.取付状態	○	○		
内 部				
6.油 量	○			
7.ゆ る み	○			
8.スラッジ・油漏れ	○			
接 続 端 子				
9.締付状態	○	○		
10.過熱変色	○	○		
接 地 線				
11.取付状態・太さ	○	○		
12.パッキングの状態	○	○		
絶 縁 油 試 験				
破かい電圧 (KV)				
2 回 目	26			
3 回 目	18			
4 回 目	33			
5 回 目	29			
平 均	26.5 2022年			
酸 価 値	0.04~0.06			
判 定	良 2022年	良 2018年		
年度測定値	0.04~0.06	0.04~0.06		
備 考	負荷70%以下	負荷70%以下		
酸化値基準	0.1以下 良	0.2~0.1 要注意	0.2 以上不良	
耐圧値基準	23KV以上 良	23~15KV 要注意	15KV以下不良	

点検表変圧器 (体育館)

実施日	2022年 12月 29日 木曜日 天候 晴 気温 7℃ 湿度 65%			
設置場所	キュービクル			
相数 P	1 P			
容量 KVA	30			
製造番号	HT6391001			
使用タップ KV	6600			
製造者	日立			
製造年月	2009			
型式	SOU-CR1			
油量 L				
コンサベーター油量				
一般				
1.漏油	○			
2.汚損・腐食	○			
3.破損・き裂	○			
4.温度計指示				
5.取付状態	○			
内部				
6.油量	○			
7.ゆるみ	○			
8.スラッジ・油漏れ	○			
接続端子				
9.締付状態	○			
10.過熱変色	○			
接地線				
11.取付状態・太さ	○			
12.パッキングの状態	○			
絶縁油試験				
破かい電圧 (KV)				
2回目				
3回目				
4回目				
5回目				
平均	26.5 2017年			
酸価値	0.04~0.06			
判定	良 2022年			
年度測定値	0.04~0.06			
備考	負荷70%以下			
酸化値基準	0.1以下 良	0.2~0.1 要注意	0.2 以上不良	
耐圧値基準	23KV以上 良	23~15KV 要注意	15KV以下不良	

点 検 表

高 圧 コ ン デ ン サ ー

(電 気 室)

24

実施日	2022年 12月 28日 水曜日				天候	晴	気温	8℃	湿度	40%
設 置 場 所	電 気 室	電 気 室	電 気 室							
容 量 kvar.	53.2	31.9	25.5							
製 造 番 号	FM12555	FM12488	FM12742							
製 造 者	ｼｽﾞｷ	ｼｽﾞｷ	ｼｽﾞｷ							
製 造 年 月	2015	2015	2015							
型 式	LV666C6050R26	LV666CC025R26	LV666CC020R26							
定 格 kv	7020	7020	7020							
一 般										
1. 変 形	○	○	○							
2. 漏 油	○	○	○							
3. 汚 損 . 腐 食	○	○	○							
4. 破 損 . き 裂	○	○	○							
5. 異 音 . 振 動	○	○	○							
6. 過 熱	○	○	○							
7. 端 子 の ゆ る み	○	○	○							
8. 取 付 状 態	○	○	○							
接 地 線										
9. 取 付 状 態 太 さ	○	○	○							
10. 測 定 値 .	○	○	○							
コ ン デ ン サ ー 容 量 試 験										
電 圧 (V)	6600	6600	6600							
充 電 電 流 (mA) U - V	4.65	2.68								
V - W	4.65	2.68								
W - U	4.65	2.68								
静 電 容 量 (μF) U - V			0.70							
V - W			0.70							
W - U			0.70							
抵 抗 (Ω) U - V										
V - W										
W - U										
絶 縁 測 定 (MΩ) U - V										
V - W										
W - U										
容 量 (μF) U - V										
判 定	良	良	良							
備 考	判定値	4.37	2.62	2.10	A (-5, +15) %					
		1.42	0.85	0.68	μF (-5, +15) %					

点 検 表

高 圧 コ ン デ ン サ ー

実施日	2022年 12月 28日 水曜日 天候 晴 気温 8℃ 湿度 40%			
設 置 場 所	キュービクル 汚水処理	キュービクル スポーツ管理棟	キュービクル リター棟	
容 量 kvar	12	12	10	
製 造 番 号	FM11962	VM03588	WM03532	
製 造 者	シスキ	シスキ	シスキ	
製 造 年 月	2015	2005	2006	
型 式	LV666CC010R26	LV-6	LV-6	
定 格 kv	7020	7020	7020	
一 般				
1. 変 形	○	○	○	
2. 漏 油	○	○	○	
3. 汚 損 . 腐 食	○	○	○	
4. 破 損 . き 裂	○	○	○	
5. 異 音 . 振 動	○	○	○	
6. 過 熱	○	○	○	
7. 端 子 の ゆ る み	○	○	○	
8. 取 付 状 態	○	○	○	
接 地 線				
9. 取 付 状 態 太 さ	○	○	○	
10. 測 定 値	○	○	○	
コ ン デ ン サ ー 容 量 試 験				
電 圧 (V)	6600	6600	6600	
充 電 電 流 (mA) U - V	0.99	0.95	1.09	
V - W	1.01	0.95	0.95	
W - U	0.99	0.95	0.98	
静 電 容 量 (μF) U - V				
V - W				
W - U				
抵 抗 (Ω) U - V				
V - W				
W - U				
絶 縁 測 定 (MΩ) U - V				
V - W				
W - U				
容 量 (μF) U - V				
判 定	良	良	良	
備 考	判定値 1.05	1.05	0.875 A (-5, +15) %	
	0.34	0.34	0.304 μF (-5, +15) %	

接地抵抗測定表

(汚水処理)

実施日	2022年 12月 28日 水曜日 天候 晴 気温 8℃ 湿度 40%				
測定箇所	接地種別	法定最高抵抗値 Ω	測定値 Ω	判定	摘要 前回
キュービクル	EA	10	6.5	良	7.5
”	EB	75	21.0	良	21.0
”	ED	100	41.0	良	40.0
”	ED (ELB)	100	2.4	良	2.1
送りケーブル	EA	10	6.5	良	7.4
補助接地極 P					39
	C				40

絶縁抵抗測定表

実施日	2022年 12月 28日 水曜日 天候 晴				気温	8℃	湿度	40%
測定回路	測定値 MΩ		判定	摘要				
	前回	今回						
引込柱PAS～DS Hケーブル	100*1000	100*1000	○	10000vメガー				
電気室DS～開閉所PAS Hケーブル	100*1000	100*1000	○	10000vメガー				
開閉所PAS～汚水処理LBS Hケーブル	100*1000	100*1000	○	10000vメガー				
開閉所PAS～リ-タ'-棟LBS Hケーブル	100*1000	100*1000	○	10000vメガー				
開閉所PAS～体育館LBS Hケーブル	100*1000	100*1000	○	10000vメガー				
汚水処理DS～ スポーツ管理灯DS Hケーブル	100*1000	100*1000	○	10000vメガー				

○ 良 △ 注意 × 不良

10000vメガー ケーブル 5000MΩ以上 良
正極指数 1.0以上 良

絶縁抵抗測定表

(電気室)

実施日	2022年 12月 28日 水曜日 天候 晴 気温 8℃ 湿度 40%				
測定回路	測定値 MΩ		判定		
	前回	今回			
高圧受電盤					
DS 1次側	2000	2000	良	1000V メガ-	
DS~VCB	2000	400	良	1000V メガ-	
VCB~S	800	400	良	1000V メガ-	
高圧饋電盤					
DS 1次側	800	400	良	1000V メガ-	
DS~VCB	100	400	良	1000V メガ-	
VCB~S	100	400	良	1000V メガ-	
<p>1000V 6MΩ以上 (晴天) 良</p> <p>1MΩ以下 (雨天) 良</p>					

絶縁抵抗測定表

(電気室)

37

実施日	2022年 12月 28日	水曜日	天候 晴	気温 8℃	湿度 40%
	2022年 12月 29日	木曜日	天候 晴	気温 7℃	湿度 65%

動力盤 2

150	150	150
20	20	20

150	100	75
20	※	※
	20	2

175	225	225
20	20	20

100	100	100
20	20	切

動力盤 1

60	150
※	20
20	

200	150
20	20

100	100
切	切

175	125	125
20	20	20

動力盤 3

400	225
20	20

100	100
切	切

後

200	20	150	220
20	20	20	2.5

※印 MCB取り替え

判定値

動力回路 (M)	0.2MΩ 以上	良
電灯回路 (L)	0.1MΩ 以上	良

絶縁抵抗測定表

(電気室)

実施日	2022年 12月 28日	水曜日	天候 晴	気温 8℃	湿度 40%
	2022年 12月 29日	木曜日	天候 晴	気温 7℃	湿度 65%

電灯盤

本館1階 L-1A 本館1階東側 L-1B 本館2階東側 L-2B

150

0.1

150

10

100

20

電機室 車庫 陶芸分室

本館2階 L-2A 1階食堂 L-1C.1D L-2C.S.9

100

4

100

0.9

100

20

文化施設2階 文化施設L-A

事務室 印刷室 ステージ

文化施設L-A ステージ照明

受電機切替室

200

20

200

6.0

40

20

HGR電源

20

—

LGR電源

20

—

所内電源

20

20

電灯盤全部取り替え

判定値

動力回路 (M) 0.2MΩ 以上 良

電灯回路 (L) 0.1MΩ 以上 良

絶縁抵抗測定表

(汚水処理)

39

実施日

2022年 12月 28日 水曜日 天候 晴 気温 8℃ 湿度 40%

電灯

予備

100

切

予備

50

切

30

20

グラントコンセント

30

20

所内

20

20

LGR

20

20

動力

B-1

100

16

予備

30

切

判定値

動力回路 (M) 0.2MΩ 以上 良

電灯回路 (L) 0.1MΩ 以上 良

絶縁抵抗測定表

(スポーツ管理棟)

40

実施日

2022年 12月 28日 水曜日 天候 晴 気温 8℃ 湿度 40%

動力盤

150	60	60	60
7	切	切	切

60	60	20	
切	切	8	

電灯盤

150	75	75	75
1.0	切	切	切

75	75	75	20
切	切	切	20

20	20	20	20
切	20	切	切

判定値

動力回路 (M)	0.2MΩ 以上	良
電灯回路 (L)	0.1MΩ 以上	良

絶縁抵抗測定表

(リーダー棟)

実施日 2022年 12月 29日 木曜日 天候 晴 気温 7℃ 湿度 65%

動力盤

青少年研修館

食堂棟厨房

200	100	100
20	15	20

100	20
3.0	切

少年宿泊所 B-1 C-1

20	15

電灯盤

リーダー棟 1L-2

100	125	125	125
1.5	1.5	5.0	3.0

青少年食堂棟

125	125	100	100
20	1.5	予備	1.0

100	20	20	20
20	20	20	切

ELR電源

30	20	20	20
20	切	20	10

判定値

動力回路 (M) 0.2MΩ 以上 良

電灯回路 (L) 0.1MΩ 以上 良

絶縁抵抗測定表

(体育館) NO 42

実施日

2022年 12月 29日 木曜日 天候 晴 気温 7℃ 湿度 65%

体育館

175

7

予備

200

切

予備

100

切

予備

100

切

予備

20

切

予備

20

切

ELR 盤内

20

20

外灯

20

20

判定値

動力回路 (M) 0.2MΩ 以上 良

電灯回路 (L) 0.1MΩ 以上 良

方向性地絡継電器試験成績

(引込柱)

実施日	2022年 12月 28日 水曜日 天候 晴 気温 8℃ 湿度 40%							
方向性地絡断電器								
使用回路各	仕 様				整 定 値			
	製造者	型 式	製造番号	製造年	零相電圧	零相電流	時 限	
主回路	日本高 圧電気	RDGV-3	11695	2015	5 %	0.2 A	0.2 sec	
零相変流器 零相電圧検出器								
品 名	製造者	型 式	製造番号	製造年	電圧・電流・容量・その他			
動作電圧値試験 (I ₀ = 0.3A 0°)				位相特性試験 (V ₀ = 285V I ₀ = 2A)				
動 作 電 圧 (V)				L E A D		L A G		
タップ°	タップ°	タップ°		140		50		
2%	5%	7.5						
80	240	320						
動作電流値試験 (V ₀ = 285V 0°)				位相特性図 P1 + (良)				
動 作 電 流 (mA)								
タップ°	タップ°	タップ°	タップ°					
0.2 A	0.3 A	0.4 A	0.6 A					
190	300	400						
動作時間試験				位相特性図 P1 + (良)				
(V ₀ = 285V I ₀ = 0.2 * %)								
動作時間 (S)								
	130 %							
単 体	0.15							
連 動	0.22							
判 定								
動作電圧	動作電流	動作時間	方向性	動作表示	S0試験	GR試験	整定値	総合判定
良	良	良	良	良	良	良	良	良
(試験基準条件) 零相電圧 (V ₀) = 整定タップ° x 150% (1% = 38) 零相電流 (I ₀) = 整定タップ° x 150% 位相角 = 0° ~ 30° (製造業者が明示する動作位相)								
判定基準								
試 験 項 目				管 理 値				
最 小 動 作 電 流 値				無 方 向 性		方 向 性		
				整定値 ± 10%		整定値 ± 10%		
動作時間		I ₀ 整定値の130%		0.1 ~ 0.3秒		整定値 (0.2) 0.1 ~ 0.2秒		
		I ₀ 整定値の400%		0.1 ~ 0.2秒		整定値 (0.2) 0.1 ~ 0.2秒		
最 小 動 作 電 圧 値				—		整定値の ± 25%		
動 作 位 相 角				—		遅れ 25 ~ 65度 進み 115 ~ 155度		

方向性地絡継電器試験成績

(電気室)

44

実施日	2022年 12月 28日 水曜日 天候 晴 気温 8℃ 湿度 40%							
方向性地絡断電器								
使用回路各	仕 様				整 定 値			
	製造者	型 式	製造番号	製造年	零相電圧	零相電流	時 限	
主回路	三菱	MDG-A1V-3	7E201SF 3056	2007	5 %	0.4 A	0.2 sec	
零相変流器 零相電圧検出器								
品 名	製造者	型 式	製造番号	製造年	電圧・電流・容量・その他			
動作電圧値試験 ($I_0 = 0.6A$ 0°)				位相特性試験 ($V_0 = 114V$ $I_0 = 0.26A$)				
動 作 電 圧 (V) 1/10				L E A D		L A G		
タップ°				125°		55°		
5 %								
17.5								
動作電流値試験 ($V_0 = 285V$ 0°)								
動 作 電 流 (mA)								
タップ°								
0.4 A								
390								
動作時間試験								
($V_0 = 285V$ $I_0 = 0.4 * \%$)								
単 体	動作時間 (mS)							
V_0	5 %							
130 %	206							
判 定								
動作電圧	動作電流	動作時間	方向性	動作表示	S0試験	GR試験	整定値	総合判定
良	良	良	良	良	—	良	良	良
(試験基準条件) 零相電圧 (V_0) = 整定タップ° x 150% (1% = 38) 零相電流 (I_0) = 整定タップ° x 130% 位相角 = $0^\circ \sim 30^\circ$ (製造業者が明示する動作位相)								
記 事								
判定	V_0 : 5%、191V	191V ± 25% 以内					: 良	
	I_0 :	0.2A ± 10% 以内					: 良	
	S :	0.1 ~ 0.3s 以内	130% (±10%)					: 良
	位相 :	遅れ 25 ~ 65°、	進み 115 ~ 165°					: 良

方向性地絡継電器試験成績 (開閉所内 汚水処理) 45

実施日	2022年 12月 28日 水曜日 天候 晴 気温 8℃ 湿度 40%							
方向性地絡断電器								
使用回路各	仕 様				整 定 値			
	製造者	型 式	製造番号	製造年	零相電圧	零相電流	時 限	
主回路	戸上	LTR-M-DFB	A753392	2007	5 %	0.2 A	0.1 sec	
零相変流器 零相電圧検出器								
品 名	製造者	型 式	製造番号	製造年	電圧・電流・容量・その他			
動作電圧値試験 (I ₀ = 0.52A 0°)				位相特性試験 (V ₀ = V I ₀ = A)				
動 作 電 圧 (V)				L E A D		L A G		
タップ°				110°		60°		
5 %	7.5 %							
200	290							
動作電流値試験 (V ₀ = 285 0°)				位相特性図				
動 作 電 流 (m A)								
タップ°								
0.2 A	0.3							
200	280							
動作時間試験 (V ₀ = 285、 I ₀ = 0.2 * %)								
単体	1	動 作 時 間 (S)						
連 動	2	130 %	%	%				
	1	0.13						
	2	-						
判 定								
動作電圧	動作電流	動作時間	方向性	動作表示	SO卸試験	GR卸試験	整定値	総合判定
良	良	良	良	良	-	良	良	良
(試験基準条件) 零相電圧 (v.) = 整定タップ° x 150% (1% = 38) 零相電流 (I.) = 整定タップ° x 150%								
位相角 = 0° ~ 30° (製造業者が明示する動作位相)								
記 事								
判定 Vo : 5%、191V 191V ± 25% 以内 : 良								
Io : 0.2A ± 10% 以内 : 良								
S : 0.1 ~ 0.3s 以内 130% * 0.2Sタップ : 良								
位相 : 遅れ 10 ~ 60°、進み 115 ~ 165° : 良								

方向性地絡継電器試験成績 (開閉所内 リ-タ'-棟) 46

実施日	2022年 12月 28日 水曜日 天候 晴 気温 8℃ 湿度 40%							
方向性地絡断電器								
使用回路各	仕 様				整 定 値			
	製造者	型 式	製造番号	製造年	零相電圧	零相電流	時 限	
主回路	戸上	LTR-M-DFB	A753900	2007	5 %	0.2 A	0.1 sec	
零相変流器 零相電圧検出器								
品 名	製造者	型 式	製造番号	製造年	電圧・電流・容量・その他			
動作電圧値試験 ($I_0 = 0.52A$ 0°)				位相特性試験 ($V_0 = V$ $I_0 = A$)				
動 作 電 圧 (V)				L E A D		L A G		
タップ°				110°		60°		
5 %	7.5 %							
210	290							
動作電流値試験 ($V_0 = 285$ 0°)				位相特性図				
動 作 電 流 (m A)								
タップ°								
0.2 A	0.3 A							
200	290							
動作時間試験 ($V_0 = 285$ 、 $I_0 = 0.2 * \%$)								
単体 1	動 作 時 間 (S)							
連 動 2	130 %	%	%					
1	0.15							
2	-							
判 定								
動作電圧	動作電流	動作時間	方向性	動作表示	SO卸試験	GR卸試験	整定値	総合判定
良	良	良	良	良	-	良	良	良
(試験基準条件) 零相電圧 (v.) = 整定タップ° x 150% (1% = 38) 零相電流 (I.) = 整定タップ° x 150%								
位相角 = 0° ~ 30° (製造業者が明示する動作位相)								
記 事								
判定 Vo : 5%、191V 191V ± 25% 以内 : 良								
Io : 0.2A ± 10% 以内 : 良								
S : 0.1 ~ 0.3s 以内 130% * 0.2Sタップ : 良								
位相 : 遅れ 10 ~ 60°、進み 115 ~ 165° : 良								

方向性地絡継電器試験成績 (開閉所内 体育館) 47

実施日	2022年 12月 28日 水曜日 天候 晴 気温 8℃ 湿度 40%						
方向性地絡断電器							
使用回路各	仕 様				整 定 値		
	製造者	型 式	製造番号	製造年	零相電圧	零相電流	時 限
主回路	戸上	LTR- M-DFB	A764902	2007	5 %	0.2 A	0.1 sec
零相変流器 零相電圧検出器							
品 名	製造者	型 式	製造番号	製造年	電圧・電流・容量・その他		
動作電圧値試験 ($I_0 = 0.52A$ 0°)				位相特性試験 ($V_0 = V$ $I_0 = A$)			
動 作 電 圧 (V)				L E A D		L A G	
タップ°				110°		60°	
5 %	7.5 %						
200	280						
動作電流値試験 ($V_0 = 285$ 0°)				位相特性図			
動 作 電 流 (m A)							
タップ°							
0.2 A	0.3 A						
200	300						
動作時間試験 ($V_0 = 285$ 、 $I_0 = 0.2 * \%$)							
単体	1	動 作 時 間 (S)					
連 動	2	130 %	%	%			
	1	0.13					
	2						
判 定							
動作電圧	動作電流	動作時間	方向性	動作表示	SO継試験	GR継試験	総合判定
良	良	良	良	良	—	良	良
(試験基準条件) 零相電圧 (v_0) = 整定タップ° x 150% (1% = 38) 零相電流 (I_0) = 整定タップ° x 150%							
位相角 = $0^\circ \sim 30^\circ$ (製造業者が明示する動作位相)							
記 事							
判定	V_0 :	5 %、191V 191V ± 25% 以内			: 良		
	I_0 :	0.2A ± 10% 以内			: 良		
	S :	0.1 ~ 0.3s 以内 130% * 0.2Sタップ			: 良		
	位相 :	遅れ 10 ~ 60°、進み 115 ~ 165°			: 良		

方向性地絡継電器試験成績 (汚水処理キュービクル内) 48

実施日	2022年 12月 28日 水曜日 天候 晴 気温 8℃ 湿度 40%						
方向性地絡断電器							
使用回路各	仕 様				整 定 値		
	製造者	型 式	製造番号	製造年	零相電圧	零相電流	時 限
主回路	三菱	MDG -A1V-R	20115060 172	2015	5 %	0.4 A	0.2 sec
零相変流器 零相電圧検出器							
品 名	製造者	型 式	製造番号	製造年	電圧・電流・容量・その他		
動作電圧値試験 ($I_0 = 0.52A$ 0°)				位相特性試験 ($V_0 = V$ $I_0 = A$)			
動 作 電 圧 (V)				L E A D		L A G	
タップ°				126°		50°	
5 %	7.5						
190	290						
動作電流値試験 ($V_0 = 285$ 0°)				位相特性図			
動 作 電 流 (m A)							
タップ°							
0.4 A							
400							
動作時間試験 ($V_0 = 285$ 、 $I_0 = 0.2 * \%$)							
単体	1	動 作 時 間 (S)					
連動	2	130 %	%	%			
	1	0.24					
	2	—					
判 定							
動作電圧	動作電流	動作時間	方向性	動作表示	SO卸試験	GR卸試験	総合判定
良	良	良	良	良	—	良	良
(試験基準条件) 零相電圧 (v.) = 整定タップ° x 150% (1% = 38) 零相電流 (I.) = 整定タップ° x 150%							
位相角 = 0° ~ 30° (製造業者が明示する動作位相)							
記 事							
判定	V_0 :	5 %、191V 191V ± 25 % 以内			: 良		
	I_0 :	0.2A ± 10 % 以内			: 良		
	S :	0.1 ~ 0.3s 以内 130 % * 0.2Sタップ			: 良		
	位相 :	遅れ 25 ~ 65°、進み 115 ~ 165°			: 良		

過電流断電器試験成績表

遮断機動作試験

(電気室)

NO 49

実施日	2022年 12月 28日 水曜日 天候 晴 気温 8℃ 湿度 40%									
断電器										
	保護回路各	相	製造者	型式	製造番号	製造年	変流比	整定タップ°/タイヤル		
右	主回路	R	三菱	MOC-	7E102SF3	2007	100/5	3.5A / 0.5S		
左	"	T		AIT-R	882		100/5			
								瞬時 30A		
								超反限時		
試験成績										
整定		始動 電流 A	1単体 2連動	動作時間 (S)				瞬時動作		判 定
電流 タップ°	時限 タイヤル			150 %	200 %	300 %	400 %	整定 A	動作 A	
R			2							
3.5	0.5	3.5	2			0.489		30	30	良
T			2							
3.5	0.5	3.5	2			0.485		30	30	良
記 事										
判定基準値										
			限時要素	電流タップの	±10%以内で動作			良		
			瞬時要素	電流タップの	±15%以内で動作			良		

過電流断電器試験成績表

遮断機動作試験

(電気室)

NO 50

実施日	2022年 12月 28日 水曜日 天候 晴 気温 8℃ 湿度 40%									
断電器										
	保護回路各	相	製造者	型式	製造番号	製造年	変流比	整定タップ°/タイヤル		
右	開閉所送り	R	三菱	MOC-	7E102SF3	2007	50/5	4A /0.5S		
左	"	T		AIT-R	888		50/5			
								瞬時 30A		
								超反限時		
試験成績										
整定		始動	1単体	動作時間 (S)				瞬時動作		判
電流	時限	電流		150	200	300	400	整定	動作	定
タップ°	タイヤル	A	2連動	%	%	%	%	A	A	
R			2							
4	0.5	4.1	2			0.524		30	30	良
T			2							
4	0.5	4.1	2			0.520		30	30	良
記 事										
判定基準値										
		限時要素		電流タップの		±10%以内で動作				良
		瞬時要素		電流タップの		±15%以内で動作				良

過電流断電器試験成績表

遮断機動作試験 (汚水処理キュービクル内) NO 51

実施日	2022年 12月 28日 水曜日 天候 晴 気温 8℃ 湿度 40%									
断電器										
	保護回路各	相	製造者	型式	製造番号	製造年	変流比	整定タップ°/タイヤル		
右	主回路	R	三菱	MOC-	10115061	2015	20/5	3A / 1S		
左	"	T		AIV-R	128		20/5			
								瞬時 20A		
試験成績										
整定		始動 電流 A	1単体 2連動	動作時間 (S)				瞬時動作		判 定
電流	時限			150	200	300	400	整定	動作	
タップ°	タイヤル			%	%	%	%	A	A	
R			2							
3	1	3	2			0.676		20	20	良
T			2							
3	1	3	2			0.671		20	20	良
記 事										
判定基準値										
			限時要素	電流タップの	±10%以内で動作			良		
			瞬時要素	電流タップの	±15%以内で動作			良		

過電流断電器試験成績表

遮断機動作試験

(リーダー棟) NO 52

実施日	2022年 12月 29日 木曜日 天候 晴 気温 7℃ 湿度 65%							
-----	-------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--

断電器								
	保護回路名	相	製造者	型式	製造番号	製造年	変流比	整定タップ°/タイヤル
右	主回路	R	三菱	MOC-	7E101DD	2006	40/5	3.5A /0.5S
左	"	T		A1V-R	8919		40/5	
								瞬時 20A

試験成績										
整定 電流 時限 タップ° タイヤル		始動 電流 A	1単体 2連動	動作時間 (S)				瞬時動作		判 定
				150 %	200 %	300 %	400 %	整定 A	動作 A	
R	10	3.5	2							
3.5	0.5		2			0.321		20	20	良
T	10	3.5	2							
3.5	0.5		2			0.330		20	20	良

記事

判定基準値

限時要素	電流タップの	±10%以内で動作	良
瞬時要素	電流タップの	±15%以内で動作	良

点 検 表

非常用予備発電装置

()

NO 53

実施日	2022年 12月 28日 水曜日 天候 晴 気温 8℃ 湿度 40%				
点 検 項 目		始 動 前	運 転 中	停 止 後	備 考
油 系 統	1. オイルパン	/	/	/	
	2. 燃料ポンプ	/	/	/	
	3. ガバナ	/	/	/	
	4. 燃料レベル	○	/	○	80%
冷 却 水	1. 冷却水レベル	○	○	○	
	2. 給水弁は開か	-	-	-	
	3. 給水されているか	/	/	/	
エ ン ジ ン	1. 水もれ. 油もれ	○	○	○	
	2. ベルトの張り	○	/	○	
	3. 保温ヒーターに暖められているか	○	/	/	寒冷時のみ
	4. 異常音	/	○	/	
	5. 排気色	/	○	/	
計 器 盤	1. 時計の読み	85.1	/	/	Hr
	2. 指示回転速度の読み	/	2400	/	rpm
	3. 指示油圧の読み	/	(○)	/	
	4. 指示油温の読み	/	(○)	/	
	5. 指示水温の読み	/	(○)	/	
発 電 機	1. グリースのもれはないか。	○	/	○	
	2. 集電装置の状況	/	/	/	
		/	/	/	
制 御 盤	1. 電圧計の読み	/	205V	/	
	2. 電流計の読み	/	/	/	
	3. 周波数計の読み	/	61.0Hz	/	
始 動 盤	1. 自動始動	○	/	/	
	2. 表示項目は正常か. ランプ断芯はないか。	○	○	○	
	3. 停止後. 自動始動状態になっているか。	○	/	○	
	4. 始動用蓄電池. 汚損. 発錆	○	/	○	
そ の 他 一 般	1. 設置場所に水の浸透はないか。	○	/	○	
	2. 周囲に異物はないか. 可燃物のないこと	○	/	○	
	3. 配管系統に水もれ. 油もれ. 破損はないか	-	○	○	
	4. 配管に損傷を受けた箇所はないか。	-	/	○	
	5. 防振ゴムに変形. 損傷はないか。	○	-	○	
記 事	製 造 者 大阪発電機 (株) 型 式 G-34 定 格 55kVA 220V 60Hz 機 番 9DG0469 製 造 年 昭和54年 3月				

点 検 表

蓄電池装置、充電装置

()

NO 54

実施日	2022年 12月 28日 水曜日			天候	晴	気温	8℃	湿度	40%
蓄電池定格 / 設置場所	12V 250Ah			発電機内					
製造者 / 型式	古河電池 (株)			HS-250E					
製造番号 / 製造年	60397			2018年 3月					
蓄電池外観点検 (目視及び測定)									
1. 電そう蓋 (割れひび等)				○					
2. 汚損 (漏液の有無)				○					
3. 端子及び接続部の状態				○					
4. 各種栓の締付状態				○					
蓄電池内部点検 (目視及び測定)									
1. 電解液比重 / 温度				-					
2. 電 解 液 面				-					
3. 電池電圧	14.0 V								
4. 極坂の状態 (湾曲亀裂)				○					
5. 沈澱物の状態				○					
充電装置整流器									
1. 入 力 電 圧				○					
2. 浮動充電電圧				-					
3. 均等充電電圧				-					
4. 蓄電池電流				-					
5. 出 力 電 流				○					
6. 負 荷 電 流				-					
7. 異 臭、異状音				○					
記 事									

漏電火災警報器試験成績 (電気室)

NO 55

実施日	2022年 12月 29日 木曜日 天候 晴 気温 7℃ 湿度 65%
-----	-------------------------------------

警 報 機						
	使用回路名	製造者	型 式	製造番号	製 造 年	整 定 値
1	動力電灯	オムロン	AGD-U2	0962	2022	0.4 A

試験成績					
	回路名 (TR)	整定値(A)	動作電流(A)	外見上の異常	判定
1	電灯	0.4	0.26~0.25	○	○
2	動力1	0.4	0.26~0.25	○	○
3	動力2	0.4	0.26~0.25	○	○
4	動力3	0.4	0.26~0.25	○	○
5	総合	0.4	0.26~0.25	○	○

判定

作動電流値 タップ整定値 × (+10% ~ -60%) の範囲内

漏電警報器 更新 5回路

AC100V セレクト付き

漏電火災警報器試験成績

リーダー

NO 56

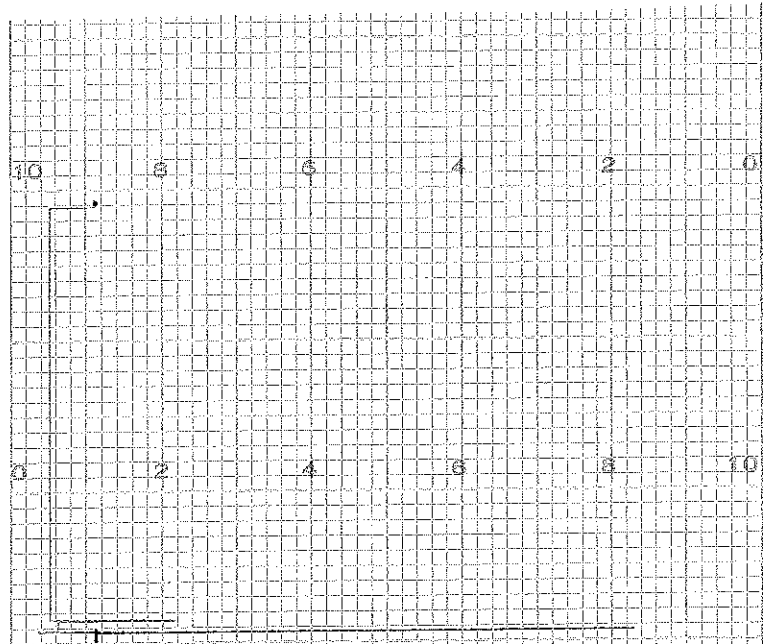
実施日	2022年 12月 29日 木曜日 天候 晴 気温 7℃ 湿度 65%					
警 報 機						
	使用回路名	製造者	型 式	製造番号	製 造 年	整 定 値
1	動力	オムロン	AGD-NY4	0825	2005	0.8
2	電灯	オムロン	AGD-NY4	0825	2005	0.8
セレクトター						
	製造者	型 式	製造番号	製造年		
試験成績						
	回路名 (TR)	整定値(A)	動作電流(mA)	外見上の異常	判定	
1	動力	0.8	0.52~0.47	○	○	
2	電灯	0.8	0.50~0.45	○	○	
判定 作動電流値 タップ整定値 × (+10% ~ -60%) の範囲内						

漏電火災警報器試験成績

リーダー

NO 57

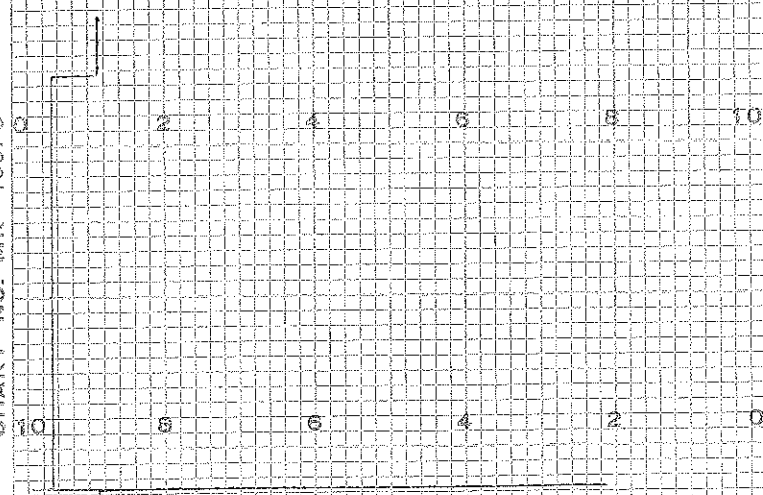
実施日	2022年 12月 29日 木曜日 天候 晴 気温 7℃ 湿度 65%					
警 報 機						
	使用回路名	製造者	型 式	製造番号	製 造 年	整 定 値
1	動力	オムロン	AGD-NY4	0825	2005	0.8
2	電灯	オムロン	AGD-NY4	0825	2005	0.8
セレクトター						
	製造者	型 式	製造番号	製造年		
試験成績						
	回路名 (TR)	整定値 (A)	動作電流 (mA)	外見上の異常	判定	
1	動力	0.8	0.52~0.47	○	○	
2	電灯	0.8	0.50~0.45	○	○	
判定 作動電流値 タップ整定値 × (+10% ~ -60%) の範囲内						



100×10^{-3}

引込柱 PAS ~ DS

CHART NO. MR-100FS



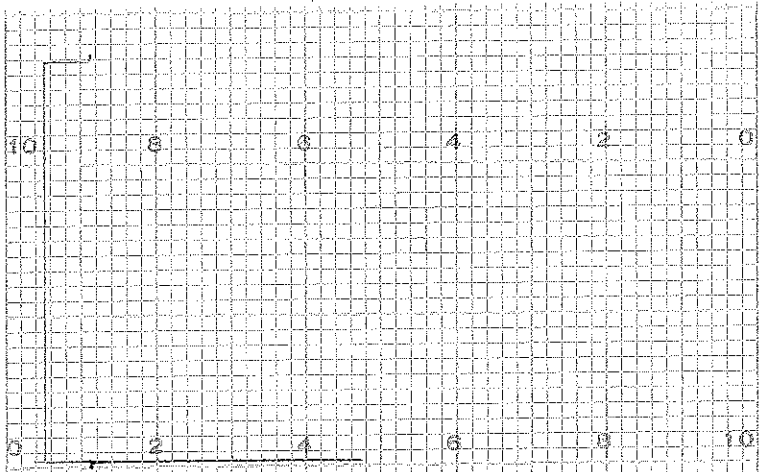
100×10^{-3}

電気室 DS ~ 開閉所 PAS

CHART NO. MR-100

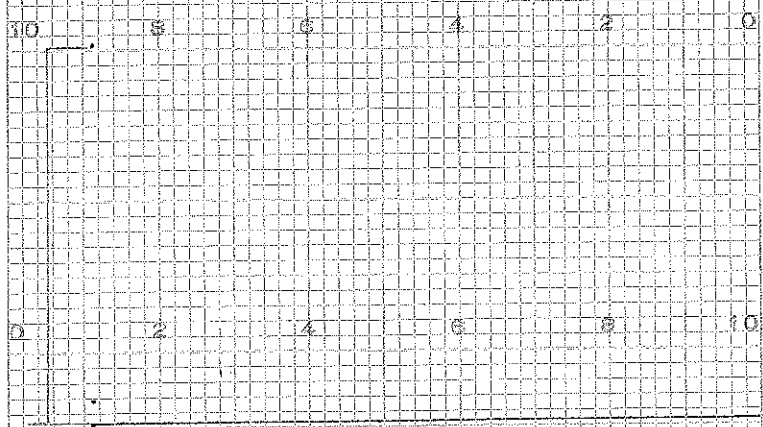
© NISSAN

CHART NO. MR-100



100×10^3

南園所PAS ~ 体育館LBS

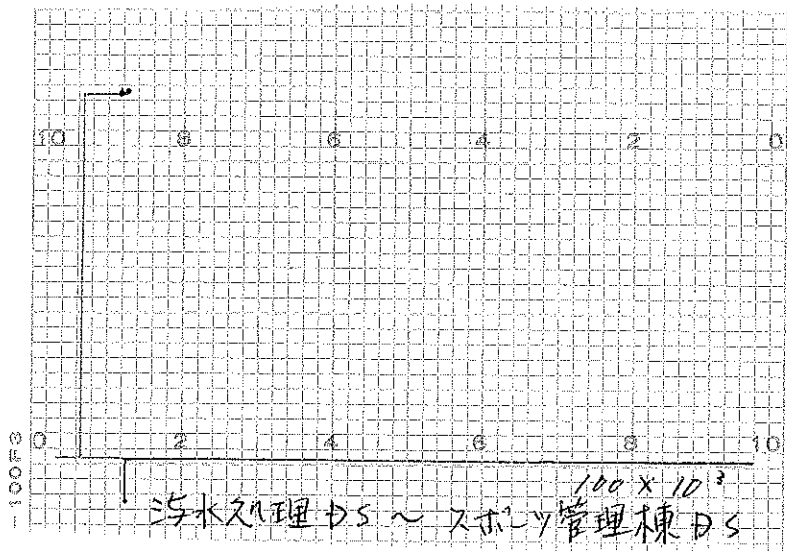
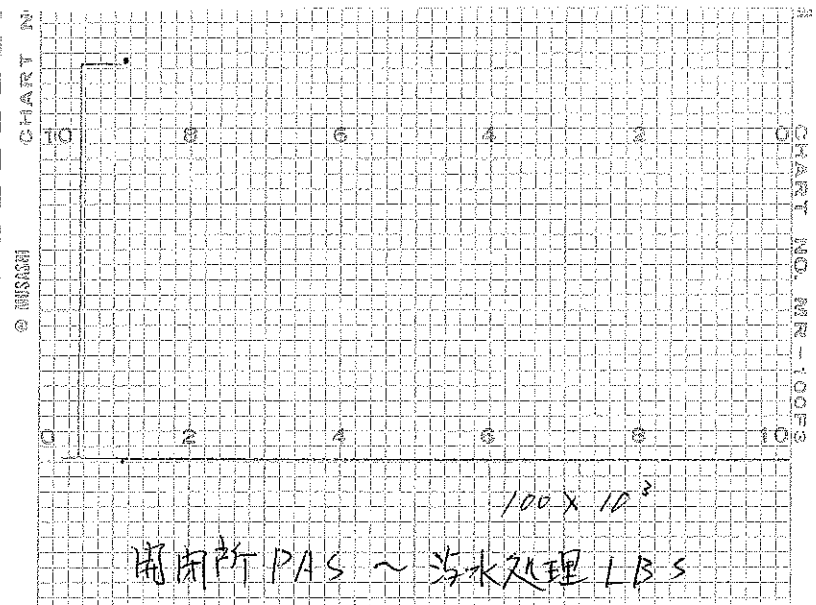


100×10^3

南園所PAS ~ リーファ棟LBS

PT NO. MR-100FS

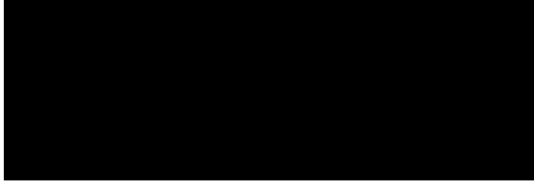
© HOSASHI



現場名 兵庫県嬉野台生涯学習センター

確認者

印



定期点検総括表

実施日	2022年 12月 28日		天気 晴	温度 8℃	湿度 40%	
	2022年 12月 29日		天気 晴	温度 7℃	湿度 65%	
項目	PAS	HGR	DS		変圧器 力	変圧器 力
外観	○	○	○		○	○
引き紐	○					
清掃			○		○	○
試験結果	○	○				
接地取付	○	○	○		○	○
油漏れ、油量、油試験					○	○
ガインひび割れ	○		○		○	○
動作状況	○	○	○			
総合判定	○	○	○		○	○

	VCB	OCR	SC		項目	結果
外観	○	○	○		固定	○
引き紐					小動物侵入	○
清掃	○	○	○		清掃	○
試験結果	○	○			柱上点検	○
接地取付	○	○	○		設備更新	○
油漏れ、油量、油試験					LGR	○
ガインひび割れ	○		○		発電機	※1
		○			PCB入り機器	※2
総合判定	○	○	○			

	PC	LA	高圧ケーブル	高圧絶縁	低圧絶縁	接地測定
外観	○	○	○	○	○	○
引き紐						
清掃	○	○	○			
接地取付		○	○			
保護管			○			
端末状況			○			
油漏れ、油量、油試験						
ガインひび割れ	○	○				
試験結果				○	○	○
総合判定	○	○	※3	○	○	○

○ 異常なし △ 注意 X 不良

特記: 引込み柱下 高圧地絡継電器(HGR)ボックス 南京錠 取付要 (事故防止の為)

構内柱 高圧電線へ樹木枝接近 改修要

※1 発電機 定期点検の実施を推奨いたします(別紙)

※2 低濃度PCB含有調査対象機器

零相蓄電器 光商工 0.001μF 1979年製 1台 43年経過

※3 開閉棟送り高圧ケーブル 1997年製 26年経過 更新推奨

電機室 MCB 電灯盤 取り替え済み (P.37・38)

電機室 漏電警報器更新済み (P.55)

電気設備巡視点検記録報告書

嬉野台生涯教育センター 殿 (No. 1/5)

事業所	連絡責任者	代理者	管理技術者

毎月
隔月
臨時
定期点検

点検日 2022年 9月 14日 13時 00分 水曜日 天候 晴 湿度 50% 気温 33℃

受電状況	電圧 (kV)	第1受 1(R)	6500 V	2(S)	6500 V	3(T)	6500 V				
		第1受 "	6400 V	"	6400 V	"	6400 V				
	電流 (A)	第1受 "		"	20A以下	"		A	%	kw	3
		第1受 "		"	10A以下	"		A	%	kw	4
× 10倍		40739	kwh	31	kvarh	9月 1日	39071	kwh	31	kvarh	5
		28204	kwh	1228	kw	力率	100%	27097	kwh	18.93	kw

負荷状況	種	kVA	V-1(R)	V-2(S)	V-3(T)	A-1(R)	A-2(S)	A-3(T)	負荷%	温度	漏れmA	
	L1φ	100x1	102	102	204 V	6	80	60 A	0	12	31/39	6
	M1.3φ	100x1	206	206	206 V	7	40	~ 55 A	0	13	31/38	11
	M2.3φ	150x1	206	206	206 V	8	35	~ 50 A	0	14	31/40	57.56
	M3.3φ	100x1	206	206	206 V	9		10A以下	0	15	31/37	11
	φ					V 10				16		
	φ					V 11				17		
	SC 3φ x 3		(高圧)			V					31	

点検要所	(受電設備) キュービクル・電気室	掘削・接地・ケーブル・固定	32	接続・変色・過熱状況 (なし)	41
	支持物・支線・碍子・架線	操作・PL・AV計・表示	33	仮設・ELB・盤・線・巡視	42
	電線・ケーブル・保護・柱上	構内柱・交通障害・さび	34	(負荷設備) 増・減・変	43
	PAS・PGS	屋側・接近・表示・他	35		44
	LBS・DS・OCB・OS・VCB	変圧器油量 () ℓ・PCB	36	電動機・接地・手元開閉機・SC	45
	母線・硝子類・接続	(配電設備) 増・減・変	37	照明設備・SW・コンセント	46
	変圧器・SC・OS・PC・PF	支持物・支線・ケーブル・架線	38	配線・器具・屋外・接地	47
	CT・PT・ZCT	配電盤・ELB・KS・MCB	39	電熱・高周波装置・溶接機	48
	LA・PC・縁廻り・碍子	ELB押釦テスト×	40	警報・誘導灯・消火器・消火栓	49

記事	HGR動作—有・無	電源 (良) V・P+	釦動作 (良・否)	Tap (A・ S・Vo)	異常 (有・無)
	LGR (灯 A・力 A)	有 (回数—灯 回・力 回)	調査 (有・無)	押釦テスト ()	異常 (有・無)
	OCR— A/5A	動作—有・無	タップ A・ s	瞬時動作—有・無	タップ A (良・否)
	低压設備状況—良・否 (—)	高压設備状況—良・否 (—)	定期点検 月 日 済・予定		
	重点項目	引込口状況—良・否 ()	Hケーブル漏状況	0.93 / 0.94 mA	
		月項目・他—	Hケーブル漏状況	0.96 / 0.97 mA	
	漏電状況	異常—無・上記の通り・有—	漏電調査 (測定値 A・不良内容—)		
	電気室等—	異音 (有・無)・換気扇 (40℃)	温度状況 (良・否)	小動物侵入口 (良・否)	他 (なし)
	太陽光発電—	モジュール (表面良・破損・汚れ・他—)	パワコン (良・否)	架台 (錆・破損)	配線 (良・否)
	発電量	V A・ A・ A・ kW	OVGR— %	S (良・否)	

※鍵—閉・返却 ・ 配布物 (なし) ・ 1ヶ月状況異常 (無・有)

○連絡事項—無・有 ()

F 100V 55% Hケーブル漏電 (体積) 0.32/0.32 mA (1ヶ月) 1.2%/30 mA (汚水) 1.54%/51 mA

*音楽室録音中のため試運転させず

電気設備巡視点検記録報告書

嬉野台生涯教育センター 殿 (No. 2/5)

事業所	連絡責任者	代理者	管理技術者

毎月 体育館
 隔月
 臨時
 定期点検



点検日	2022年 9月14日 13時00分						曜日	水	天候	晴	湿度	50%	気温	33°C
受電状況	電圧 (kV)	第1受 1(R)	6400 V	2(S)	6400 V	3(T)	6400 V					1		
		"	"	"	"	"	"					2		
	電流 (A)	第1受	"	"	2A以下	"	"	"	"	"	"	kw	3	
		"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	kw	4	
	x 倍	kwh		kvarh		月 日		力率 %		kwh		kvarh		
負荷状況	種	kVA	V-1(R)	V-2(S)	V-3(T)		A-1(R)	A-2(S)	A-3(T)	負荷%	温度	漏れmA		
	L	1φ30X1	103	103	206V	6	50A以下	A	0	12	4.39	18		
	φ				V	7		A		13		19		
	φ				V	8		A		14		20		
	φ				V	9		A		15		21		
	φ				V	10		A		16		22		
	φ				V	11		A		17		23		
	φ				V			A						
点検要所	(受電設備) キュービクル・電気室			掘削・接地・ケーブル・固定			32	接続・変色・過熱状況 (なし)					41	
	支持物・支線・碍子・架線			24	操作・PL・AV計・表示			33	仮設・ELB・盤・線・巡視					42
	電線・ケーブル・保護・柱上			25	構内柱・交通障害・さび			34	(負荷設備) 増・減・変					43
	PAS・PGS			26	屋側・接近・表示・他			35						44
	LBS・DS・OCB・OS・VCB			27	変圧器油量 () ℓ・PCB			36	電動機・接地・手元開閉機・SC					45
	母線・硝子類・接続			28	(配電設備) 増・減・変			37	照明設備・SW・コンセント					46
	変圧器・SC・OS・PC・PF			29	支持物・支線・ケーブル・架線			38	配線・器具・屋外・接地					47
	CT・PT・ZCT			30	配電盤・ELB・KS・MCB			39	電熱・高周波装置・溶接機					48
	LA・PC・縁廻り・碍子			31	ELB押釦テスト×			40	警報・誘導灯・消火器・消火栓					49
	記事	HGR動作—有・無 電源 () V・P+・釦動作(良・否) Tap (A・S・Vo) 異常(有・無)												
LGR(灯 A・力 A)・有(回数—灯 回・力 回)・調査(有・無)・押釦テスト()・異常(有・無)														
OCR— A/5A・動作—有・無 タップ A・ s・瞬時動作—有・無 タップ A(良・否)														
低圧設備状況—良・否(—) 高圧設備状況—良・否(—) 定期点検 月 日 済・予定														
重点項目		引込口状況—良・否(—) Hケーブル漏状況 / mA												
		月項目・他— 飛散物等なし DS33° LBS31° PC32° Hケーブル漏状況 / mA												
漏電状況 異常—無(上記の通り)・有—漏電調査(測定値 A・不良内容— 無し)														
電気室等—異音(有・無)・換気扇(35°C)・温度状況(良・否)・小動物侵入(良・否)・他(無し)														
太陽光発電—モジュール(表面良・破損・汚れ・他—)・パワコン(良・否)架台(錆・破損)配線(良・否)														
発電量 V A・ A・ A・ kW・OVGR— %・S(良・否)														
ディーゼル発電—燃料(有・補充要 ℓ)・オイル(有・無)冷却水(有・無)・異音(有・無)・ベルト(良・否)														
排煙(白・黒)・バッテリー(度)・変形・端子—(良・否)・始動(良・否)・自動戻(良・否)・水漏れ(有・無)														
rpm・MCB—入・ Hr・ Hz・ V・ V・他:														

※鍵—閉・返却 配布物 (無し) 1ヶ月状況異常 (無) 有 ()
 ○連絡事項—無・有 ()

他 に な し

電気設備巡視点検記録報告書

嬉野台生涯教育センター 殿 (No. 3/5)

事業所	連絡責任者	代理者	管理技術者

毎月
隔月
臨時
定期点検

点検日	2022年 9月14日 13時00分			曜日	水曜日	天候	晴	湿度	50%	気温	33℃	
受電状況	電圧 (kV)	第1受 1(R)	16400V	2(S)	6400V	3(T)	6400V				1	
		"	V	"	V	"	V				2	
	電流 (A)	第1受 "	8 A	"	7 A	"	5 A	%		kw	3	
		"	A	"	A	"	A	%		kw	4	
	x 倍		kwh	kwh	kvarh	kw	月	日	力率	%	kwh	kvarh
負荷状況	種	kVA	V-1(R)	V-2(S)	V-3(T)	A-1(R)	A-2(S)	A-3(T)	負荷%	温度	漏れmA	
	M 3φ	100X1	204	204	204V	6	150	~ 180A	0	12	35.37	23
	φ				V	7		A		13		
	φ				V	8		A		14		
	L 1φ	150X1	102	102	204V	9	50	30A	0	15	34.37	15
	φ				V	10		A		16		
	φ				V	11		A		17		
SC 3φ	X1		(高圧)	V			A			32		
点検要所	(受電設備) キュービクル・電気室			掘削・接地・ケーブル・固定			32	接続・変色・過熱状況			41	
	支持物・支線・碍子・架線			24	操作・PL・AV計・表示			33	仮設・ELB・盤・線・巡視			42
	電線・ケーブル・保護・柱上			25	構内柱・交通障害・さび			34	(負荷設備) 増・減・変			43
	PAS・PGS			26	屋側・接近・表示・他			35				44
	LBS・DS・OCB・OS・VCB			27	変圧器油量()ℓ・PCB			36	電動機・接地・手元開閉機・SC			45
	母線・硝子類・接続			28	(配電設備) 増・減・変			37	照明設備・SW・コンセント			46
	変圧器・SC・OS・PC・PF			29	支持物・支線・ケーブル・架線			38	配線・器具・屋外・接地			47
	CT・PT・ZCT			30	配電盤・ELB・KS・MCB			39	電熱・高周波装置・溶接機			48
	LA・PC・縁廻り・碍子			31	ELB押釦テスト×			ケ	40 警報・誘導灯・消火器・消火栓			49
	記事	HGR動作—有・無 電源()V・P+・釦動作(良・否) Tap(A・S・Vo %)異常(有・無)										
LGR(灯 A・力 A)・有(回数—灯 回・力 回)・調査(有・無)・押釦テスト()・異常(有・無)												
OCR— A/5A・動作—有・無 タップ A・s・瞬時動作—有・無 タップ A(良・否)												
低压設備状況—良・否() 高压設備状況—良・否() 定期点検 月 日 済・予定												
重点項目		引込口状況—良・否()・Hケーブル漏状況 / mA										
		月項目・他—作散物等 LBS 35° LBS 36° C B 32° PC 33° NFB 33° Hケーブル漏状況 / mA										
漏電状況 異常—無・(上記の通り)・有—漏電調査(測定値 A・不良内容—)												
電気室等—異音(有・無)・換気扇(35℃)・温度状況(良・否)・小動物侵入(良・否)・他()												
太陽光発電—モジュール(表面良・破損・汚れ・他—)・パワコン(良・否)架台(錆・破損)配線(良・否)												
発電量 V A・ A・ A・ kW・OVGR— %・S(良・否)												
ディーゼル発電—燃料(有・補充要 ℓ)・オイル(有・無)冷却水(有・無)・異音(有・無)・ベルト(良・否)												
排煙(白・黒)・バッテリー(度)・変形・端子—(良・否)・始動(良・否)・自動戻(良・否)・水漏れ(有・無)												
rpm・MCB—入・ Hr・ Hz・ V・ V・他:												

※鍵—閉・返却 ・ 配布物 (2) ・ 1ヶ月状況異常(無・有) ()
○連絡事項—無・有 ()

他 に 及 び

電気設備巡視点検記録報告書

嬉野台生涯教育センター 殿 (No. 4/5)

事業所	連絡責任者	代理者	管理技術者

毎月 (三水)
隔月
臨時
定期点検



点検日 2022年 9月14日 13時00分 水曜日 天候 晴 湿度 58% 気温 33℃

受電状況	電圧 (kV)	第1受	1(R)	V	2(S)	V	3(T)	V					1
			"	V	"	V	"	V					2
	電流 (A)	第1受	"	A	"	A	"	A	%		kw		3
			"	A	"	A	"	A	%		kw		4
	× 倍	kwh		kvarh		月 日		力率 %		kwh		kvarh	
		kwh		kw						kwh		kw	

負荷状況	種	kVA	V-1(R)	V-2(S)	V-3(T)	A-1(R)	A-2(S)	A-3(T)	負荷%	温度	漏れmA		
	M	3φ50x1	205	205	205V	6	50A以下	A	0	12	35.38	2	18
		φ				7		A		13			19
		φ				8		A		14			20
	L	1φ20x1	102	102	204V	9	30A以下	A	0	15	38.36	1	21
		φ				10		A		16			22
		φ				11		A		17			23
	8φ30x1		(高圧)		V		A			32			

点検要所	(受電設備) キュービクル・電気室	掘削・接地・ケーブル・固定	32	接続・変色・過熱状況	41
	支持物・支線・碍子・架線	操作・PL・AV計・表示	33	仮設・ELB・盤・線・巡視	42
	電線・ケーブル・保護・柱上	構内柱・交通障害・さび	34	(負荷設備) 増・減・変	43
	PAS・PGS	屋側・接近・表示・他	35		44
	LBS・DS・OCB・OS・VCB	変圧器油量()ℓ・PCB	36	電動機・接地・手元開閉機・SC	45
	母線・硝子類・接続	(配電設備) 増・減・変	37	照明設備・SW・コンセント	46
	変圧器・SC・OS・PC・PF	支持物・支線・ケーブル・架線	38	配線・器具・屋外・接地	47
	CT・PT・ZCT	配電盤・ELB・KS・MCB	39	電熱・高周波装置・溶接機	48
LA・PC・縁廻り・碍子	ELB押釦テスト×	40	警報・誘導灯・消火器・消火栓	49	

記事	HGR動作—有・無	電源()V	P+・釦動作(良・否)	Tap(A・S・Vo)	%異常(有・無)			
	LGR(灯	A・力	A)・有(回数—灯	回・力	回)・調査(有・無)・押釦テスト()・異常(有・無)			
	OCR—	A/5A	・動作—有・無	タップ	A・s	・瞬時動作—有・無	タップ	A(良・否)
	低圧設備状況	良・否()	高圧設備状況	良・否()	定期点検	月 日 済・予定		
	重点項目	引込口状況—良・否()	Hケーブル漏状況		1.17 / 1.14	mA		
		月項目・他—	Hケーブル漏状況			mA		
	漏電状況	異常—無(上記の通り)・有	漏電調査(測定値	A	不良内容—	なし		
	電気室等—	異音(有・無)・換気扇(35℃)	・温度状況(良・否)	・小動物侵入口(良・否)	・他()	なし		
	太陽光発電—	モジュール(表面良・破損・汚れ・他—)	・パワコン(良・否)	架台(錆・破損)	配線(良・否)			
	発電量	V	A	A	A	kW	OVGR—	%
ディーゼル発電—	燃料(有・補充要 ℓ)	・オイル(有・無)	冷却水(有・無)	・異音(有・無)	・ベルト(良・否)			
排煙(白・黒)	・バッテリー(度)	・変形・端子—(良・否)	・始動(良・否)	・自動戻(良・否)	・水漏れ(有・無)			
	rpm	・MCB—入	Hr	Hz	V	V	他:	

※鍵—閉・返却 ・ 配布物 () ・ 1ヶ月状況異常 ()
○連絡事項—無・有 ()

、 他 に な し

電気設備巡視点検記録報告書

嬉野台生涯教育センター 殿 (No. 5/5)

事業所	連絡責任者	代理者	管理技術者

毎月 (スポーツ)
隔月
臨時
定期点検



点検日 2022年 9月 14日 13時 00分 水曜日 天候 晴 湿度 58% 気温 33°C

受電状況	電圧 (kV)	第1受 1(R)	V	2(S)	V	3(T)	V				
		"	V	"	V	"	V				
	電流 (A)	第1受 "	A	"	A	"	A	%	kw		
		"	A	"	A	"	A	%	kw		
	x 倍	kwh		kvarh		力率		kwh		kvarh	
		kwh		kw		%		kwh		kw	

負荷状況	種	kVA	V-1(R)	V-2(S)	V-3(T)	A-1(R)	A-2(S)	A-3(T)	負荷%	温度	漏れmA
	M 3φ 20x1	206	206	206	V 6	50A以下	A	0	12	37.40	9
	φ				V 7		A		13		
	φ				V 8		A		14		
	L 1φ 20x1	103	103	206	V 9	100A以下	A	0	15	34.36	1
	φ				V 10		A		16		
	φ				V 11		A		17		
S 3φ x1		(高圧)		V		A			30		

点検要所	(受電設備) キュービクル・電気室	掘削・接地・ケーブル・固定	32	接続・変色・過熱状況 (なし)	41
	支持物・支線・碍子・架線	操作・PL・AV計・表示	33	仮設・ELB・盤・線・巡視	42
	電線・ケーブル・保護・柱上	構内柱・交通障害・さび	34	(負荷設備) 増・減・変	43
	PAS・PGS	屋側・接近・表示・他	35		44
	LBS・DS・OCB・OS・VCB	変圧器油量 () ℓ・PCB	36	電動機・接地・手元開閉機・SC	45
	母線・硝子類・接続	(配電設備) 増・減・変	37	照明設備・SW・コンセント	46
	変圧器・SC・OS・PC・PF	支持物・支線・ケーブル・架線	38	配線・器具・屋外・接地	47
	CT・PT・ZCT	配電盤・ELB・KS・MCB	39	電熱・高周波装置・溶接機	48
	LA・PC・縁廻り・碍子	ELB押釦テスト ×	40	警報・誘導灯・消火器・消火栓	49

記事	HGR動作—有・無	電源 () V・P+・釦動作(良・否)	Tap (A・ S・Vo)	異常(有・無)	
	LGR(灯 A・力 A)	有(回数—灯 回・力 回)	調査(有・無)	押釦テスト () 異常(有・無)	
	OCR— A/5A	動作—有・無	タップ A・ s	瞬時動作—有・無	タップ A(良・否)
	低圧設備状況	良・否 (—)	高圧設備状況	良・否 (—)	定期点検 月 日 済・予定
	重点項目	引込口状況—良・否 ()	Hケーブル漏状況	/	mA
		月項目・他— 作業者等なし	Hケーブル漏状況	/	mA
	漏電状況	異常—無(上記の通り)	有—漏電調査(測定値 A・不良内容—なし)		
	電気室等—異音(有・無)	換気扇 (25°C)	温度状況(良・否)	小動物侵入 (良・否)	他 (なし)
	太陽光発電—モジュール(表面良・破損・汚れ・他—)	パワコン(良・否)	架台(錆・破損)	配線(良・否)	
	発電量	V A・ A・ A・ kW	OVGR— %	S (良・否)	
ディーゼル発電—燃料(有・補充要 ℓ)	オイル(有・無)	冷却水(有・無)	異音(有・無)	ベルト(良・否)	
排煙(白・黒)	バッテリー(度)	変形・端子—(良・否)	始動(良・否)	自動戻(良・否)	
	rpm	MCB—入	Hr	Hz	
			V	V	

※鍵—閉・返却 (なし) 1ヶ月状況異常 (無・有) ()
○連絡事項—無・有 ()

、他 12 22 2

電気設備巡視点検記録報告書

嬉野台生涯教育センター 殿 (No. 1/5)

事業所	連絡責任者	代理者	管理技術者

毎月
隔月
臨時
定期点検



点検日 2022年10月25日 13時10分 火曜日 天候 (曇り) 湿度 52% 気温 18℃

受電状況	電圧 (kV)	第1受 1(R)	6400 V	2(S)	6400 V	3(T)	6400 V			1
		送	6300 V		6300 V		6300 V			2
	電流 (A)	第1受		A		20A以下	A	力率	%	kw
		送		A		10A以下	A	力率	%	kw
	x 10倍	44510 30770	kwh	31 8.55	kvarh	10月1日	42430 29447	kwh	31 12.78	kvarh
						力率	100%			

負荷状況	種	kVA	V-1(R)	V-2(S)	V-3(T)	A-1(R)	A-2(S)	A-3(T)	負荷%	温度	漏れmA	
	L1	φ100x1	101	101	202 V 6	40		50 A	0	12	20.26	5
	M1	3φ100x1	203	203	203 V 7	20	~	30 A	0	13	20.26	11
	M2	3φ150x1	204	204	204 V 8	10A以下		A	0	14	20.24	54.55
	M3	3φ100x1	202	202	202 V 9	10A以下		A	0	15	20.24	10
		φ			V 10			A		16		
		φ			V 11			A		17		
	SL3φx3		(高圧)	V			A			19		

点検要所	(受電設備) キュービクル・電気室	掘削・接地・ケーブル・固定	32	接続・変色・過熱状況(なし)	41	
	支持物・支線・碍子・架線	操作・PL・AV計・表示	33	仮設・ELB・盤・線・巡視	42	
	電線・ケーブル・接近・柱上	構内柱・交通障害・さび	34	(負荷設備) 増・減・変	43	
	PAS・PGS	屋側・接近・表示・他	35		44	
	LBS・DS・OCB・OS・VCB	変圧器油量()ℓ・PCB	36	電動機・接地・手元開閉機・SC	45	
	母線・硝子類・接続	(配電設備) 増・減・変	37	照明設備・SW・コンセント	46	
	変圧器・SC・OS・PC・PFV	支持物・支線・ケーブル・架線	38	配線・器具・屋外・接地	47	
	CT・PT・ZCT・OVGR	配電盤・ELB・KS・MCB	39	電熱・高周波装置・溶接機	48	
	LA・PC・縁廻り・碍子	ELB押釦テスト×	ケ	40	警報・誘導灯・消火器・消火栓	49

記事	HGR動作—有・無	電源(良) V・P+・釦動作(良・否) Tap(A・ S・Vo)異常(有・無)
	LGR(灯 A・力 A)・有(回数—灯 回・力 回)・調査(有・無)・押釦テスト()・異常(有・無)	
	OCR— A/5A・動作—有・無	タップ A・ s・瞬時動作—有・無
	低圧設備状況—良・否(—)	高圧設備状況—良・否(—)
	重点項目	引込口状況—良・否(—)・Hケーブル漏状況 0.76 / 0.78 mA
		月項目・他—PAS(良) 接地(無) 送 Hケーブル漏状況 1.06 / 1.06 mA
	漏電状況	異常—無・上記の通り・有—漏電調査(測定値 A・不良内容— 無し)
	電気室等—異音(有・無)・換気扇(40℃)・温度状況(良・否)・小動物侵入(良・否)・他(無し)	
	太陽光発電—モジュール(表面良・破損・汚れ・他—)・パワコン(良・否) 架台(錆・破損) 配線(良・否)	
	発電量	V A・ A・ A・ kW・ OVGR— %・ S (良・否)
ディーゼル発電—燃料(有・55%)・オイル(有・無) 冷却水(有・無)・異音(有・無)・ベルト(良・否)		
排煙(白・黒)・バッテリー(度)・変形・端子—(良・否)・始動(良・否)・自動戻(良・否)・水漏れ(有・無)		
	2400 rpm ・ MCB—入・ 85.1 Hr ・ 61.0 Hz ・ AC 14 V ・ AC 204 V ・ 他: 無し	

※鍵—閉・返却 ・ 配布物(無し) ・ 1ヶ月状況異常(無・有)

○連絡事項—無・有 (有り)

HGR 55% ・ Hケーブル漏状況(リ・ダ) 1.24 / 1.24 mA

(体館) 0.31 / 0.31 mA

(排水) 1.49 / 1.48 mA

他: 無し

電気設備巡視点検記録報告書

嬉野台生涯教育センター

殿 (No. 2/5)

(体育館)

事業所	連絡責任者	代理者	管理技術者

毎月
隔月
臨時
定期点検



点検日		2022年10月25日 13時10分						曜日	火曜日		天候	曇り		湿度	52%	気温	18℃	
受電状況	電圧 (kV)	第1受	1(R)	6400 V	2(S)	6400 V	3(T)	6400 V									1	
			"		V	"	V	"	V									2
	電流 (A)	第1受	"		A	"	2A以下	A	"		A	力率	%				kw	3
			"		A	"	A	"	A	"	A	力率	%				kw	4
	×	倍	kwh			kvarh		月		日		kwh		kvarh				5
負荷状況	種	kVA	V-1(R)	V-2(S)	V-3(T)		A-1(R)	A-2(S)	A-3(T)	負荷%		温度	漏れmA					
	L	φ 30x1	102	102	204 V	6	50A以下	A	0	12	20/25	/	18					
		φ			V	7		A		13	/	/	19					
		φ			V	8		A		14	/	/	20					
		φ			V	9		A		15	/	/	21					
		φ			V	10		A		16	/	/	22					
		φ			V	11		A		17	/	/	23					
		φ			V			A			/	/						
点検要所	(受電設備) キュービクル・電気室			掘削・接地・ケーブル・固定			32	接続・変色・過熱状況			なし	41						
	支持物・支線・碍子・架線			操作・PL・AV計・表示			33	仮設・ELB・盤・線・巡視			なし	42						
	電線・ケーブル・接近・柱上			構内柱・交通障害・さび			34	(負荷設備) 増・減・変				43						
	PAS・PGS			屋側・接近・表示・他			35					44						
	LBS・DS・OCB・OS・VCB			変圧器油量()ℓ・PCB			36	電動機・接地・手元開閉機・SC				45						
	母線・硝子類・接続			(配電設備) 増・減・変			37	照明設備・SW・コンセント				46						
	変圧器・SC・OS・PC・PF			支持物・支線・ケーブル・架線			38	配線・器具・屋外・接地				47						
	CT・PT・ZCT・OVGR			配電盤・ELB・KS・MCB			39	電熱・高周波装置・溶接機				48						
	LA・PC・縁廻り・碍子			ELB押釦テスト×			ケ	警報・誘導灯・消火器・消火栓			なし	49						
	記事	HGR動作—有・無 電源()V・P+・釦動作(良・否) Tap(A・ S・Vo %)異常(有・無)																
LGR(灯 A・力 A)・有(回数—灯 回・力 回)・調査(有・無)・押釦テスト()・異常(有・無)																		
OCR— A/5A・動作—有・無 タップ A・ s・瞬時動作—有・無 タップ A(良・否)																		
低圧設備状況—良・否(—) 高圧設備状況—良・否(—) 定期点検 月 日 済・予定																		
重点項目		引込口状況—良・否(—)・Hケーブル漏状況 / mA																
		月項目・他— Hケーブル漏状況 / mA																
漏電状況 異常—無・上記の通り・有—漏電調査(測定値 A・不良内容—なし)																		
電気室等—異音(有・無)・換気扇(35℃)・温度状況(良・否)・小動物侵入口(良・否)・他(なし)																		
太陽光発電—モジュール(表面良・破損・汚れ・他—)・パワコン(良・否)架台(錆・破損)配線(良・否)																		
発電量 V A・ A・ A・ kW・ OVGR— %・ S(良・否)																		
ディーゼル発電—燃料(有・ %)・オイル(有・無)冷却水(有・無)・異音(有・無)・ベルト(良・否)																		
排煙(白・黒)・バッテリー(度)・変形・端子—(良・否)・始動(良・否)・自動戻(良・否)・水漏れ(有・無)																		
rpm ・ MCB—入・ Hr・ Hz・ V・ V・他:																		

※鍵—閉・返却 ・ 配布物(なし) ・ 1ヶ月状況異常(無・有))
 ○連絡事項—無・有 ()

他 になし

電気設備巡視点検記録報告書

嬉野台生涯教育センター 殿 (No. 3/5)

事業所	連絡責任者	代理者	管理技術者

毎月
隔月
臨時
定期点検



点検日 2022年10月25日 13時10分 火曜日 天候 曇り 湿度 52% 気温 18℃

受電状況	電圧 (kV)	第1受 1(R)	6400 V	2(S)	6400 V	3(T)	6400 V						
		"	V	"	V	"	V						
	電流 (A)	第1受	"	A	"	5A以下	A	"	A	力率	%	kw	3
		"	"	A	"	A	"	A	力率	%	kw	4	
	× 倍		kwh	kwh	kvarh	kw	月	日	力率	%	kwh	kvarh	kw

負荷状況	種	kVA	V-1(R)	V-2(S)	V-3(T)	A-1(R)	A-2(S)	A-3(T)	負荷%	温度	漏れmA	
	M 3 φ	100x1	204	204	204 V	6	50A以下	A	0	12	20/23	21
		φ				V	7		A	13		
		φ				V	8		A	14		
	L 1 φ	50x1	102	102	204 V	9	100A以下	A	0	15	19/19	16
		φ				V	10		A	16		
		φ				V	11		A	17		
	SC 3 φ	x1		(高圧)	V			A			17	

点検要所	(受電設備) キュービクル・電気室	掘削・接地・ケーブル(固定)	32	接続・変色・過熱状況(なし)	41	
	支持物・支線・碍子・架線	24	操作・PL・AV計・表示	33	仮設・ELB・盤・線・巡視	42
	電線・ケーブル・接近・柱上	25	構内柱・交通障害・さび	34	(負荷設備)増・減・変	43
	PAS・PGS	26	屋側・接近・表示・他	35		44
	LBS・DS・OCB・OS・VCB	27	変圧器油量()ℓ・PCB	36	電動機・接地・手元開閉機・SC	45
	母線・硝子類・接続	28	(配電設備)増・減・変	37	照明設備・SW・コンセント	46
	変圧器・SC・OS・PC・PF	29	支持物・支線・ケーブル・架線	38	配線・器具・屋外・接地	47
	CT・PT・ZCT・OVGR	30	配電盤・ELB・KS・MCB	39	電熱・高周波装置・溶接機	48
	LA・PC・縁廻り・碍子	31	ELB押釦テスト×	40	警報・誘導灯・消火器・消火栓	49

記事	HGR動作—有・無 電源()V・P+・釦動作(良・否) Tap(A・ S・Vo (%)異常(有・無)
	LGR(灯 A・力 A)・有(回数—灯 回・力 回)・調査(有・無)・押釦テスト()・異常(有・無)
	OCR— A/5A・動作—有・無 タップ A・ s・瞬時動作—有・無 タップ A(良・否)
	低圧設備状況—良・否(—) 高圧設備状況—良・否(—) 定期点検 月 日 済・予定
	重点項目 引込口状況—良・否()・Hケーブル漏状況 / mA
	月項目・他— Hケーブル漏状況 / mA
	漏電状況 異常—無・上記の通り・有—漏電調査(測定値 A・不良内容—なし)
	電気室等—異音(有・無)・換気扇(35℃)・温度状況(良・否)・小動物侵入口(良・否)・他(なし)
	太陽光発電—モジュール(表面良・破損・汚れ・他—)・パワコン(良・否)架台(錆・破損)配線(良・否)
	発電量 V A・ A・ A・ kW・ OVGR— %・ S(良・否)
ディーゼル発電—燃料(有・ %)・オイル(有・無)冷却水(有・無)・異音(有・無)・ベルト(良・否)	
排煙(白・黒)・バッテリー(度)・変形・端子—(良・否)・始動(良・否)・自動戻(良・否)・水漏れ(有・無)	
rpm ・ MCB—入・ Hr ・ Hz ・ V ・ V ・ 他:	

※鍵—閉・返却 ・ 配布物(なし) ・ 1ヶ月状況異常(無・有))
 ○連絡事項—無・有 ()

、他になし

電気設備巡視点検記録報告書

嬉野台生涯教育センター 殿 (No. 4/5) (汚水)

事業所	連絡責任者	代理者	管理技術者

毎月
隔月
臨時
定期点検



点検日 2022年 10月 25日 13時 10分 火曜日 天候 くもり 湿度 52% 気温 18℃

受電状況	電圧 (kV)	第1受	1(R)	V	2(S)	V	3(T)	V				1
			"	V	"	V	"	V				2
	電流 (A)	第1受	"	A	"	A	"	A	力率	%	kw	3
			"	A	"	A	"	A	力率	%	kw	4
	× 倍	kwh		kvarh		月 日		力率 %		kwh		kvarh
		kwh	kw							kwh	kvarh	kw

負荷状況	種	kVA	V-1(R)	V-2(S)	V-3(T)	A-1(R)	A-2(S)	A-3(T)	負荷%	温度	漏れmA	
	M3	φ50x1	205	205	205 V 6	50A以下	A	0	12	19.26	2	18
		φ			V 7		A		13			19
		φ			V 8		A		14			20
	1.1	φ20x1	102	102	204 V 9	30A以下	A	0	15	18.24	1	21
		φ			V 10		A		16			22
		φ			V 11		A		17			23
	φ x1		(高圧)	V		A				16		

点検要所	(受電設備) キュービクル・電気室	掘削・接地・ケーブル・固定	32	接続・変色・過熱状況 (なし)	41	
	支持物・支線・碍子・架線	24	操作・PL・AV計・表示	33	仮設・ELB・盤・線・巡視	42
	電線・ケーブル・接近・柱上	25	構内柱・交通障害・さび	34	(負荷設備) 増・減・変	43
	PAS・PGS	26	屋側・接近・表示・他	35		44
	LBS・DS・OCB・OS・VCB	27	変圧器油量()ℓ・PCB	36	電動機・接地・手元開閉機・SC	45
	母線・硝子類・接続	28	(配電設備) 増・減・変	37	照明設備・SW・コンセント	46
	変圧器・SC・OS・PC・PF	29	支持物・支線・ケーブル・架線	38	配線・器具・屋外・接地	47
	CT・PT・ZCT・OVGR	30	配電盤・ELB・KS・MCB	39	電熱・高周波装置・溶接機	48
	LA・PC・緑廻り・碍子	31	ELB押釦テスト×	40	警報・誘導灯・消火器・消火栓	49

記事	HGR動作—有・無 電源(良) V・P+・釦動作(良・否) Tap (A・ S・Vo %)異常(有・無)
	LGR(灯 A・力 A)・有(回数—灯 回・力 回)・調査(有・無)・押釦テスト()・異常(有・無)
	OCR— A/5A・動作—有・無 タップ A・ s・瞬時動作—有・無 タップ A(良・否)
	低圧設備状況—良・否() 高圧設備状況—良・否() 定期点検 月 日 済・予定
	重点項目 引込口状況—良・否()・Hケーブル漏状況 1.12 / 1.12 mA
	月項目・他— Hケーブル漏状況 / mA
	漏電状況 異常—無・上記の通り・有—漏電調査(測定値 A・不良内容—なし)
	電気室等—異音(有・無)・換気扇(35℃)・温度状況(良・否)・小動物侵入口(良・否)・他(なし)
	太陽光発電—モジュール(表面良・破損・汚れ・他—)・パワコン(良・否)架台(錆・破損)配線(良・否)
	発電量 V A・ A・ A・ kW・OVGR— %・ S(良・否)
ディーゼル発電—燃料(有・ %)・オイル(有・無)冷却水(有・無)・異音(有・無)・ベルト(良・否)	
排煙(白・黒)・バッテリー(度)・変形・端子—(良・否)・始動(良・否)・自動戻(良・否)・水漏れ(有・無)	
rpm ・ MCB—入・ Hr ・ Hz ・ V ・ V ・ 他:	

※鍵—閉・返却 ・ 配布物 (なし) ・ 1ヶ月状況異常(無・有:)
 ○連絡事項—無・有 ()

他: なし

電気設備巡視点検記録報

所長 次長 管理課長 課員 担当

嬉野台生涯教育センター 殿 (No. 5)

事業所	連絡責任者	代理者	管理技術者

毎月
隔月
臨時
定期点検

異常あり
んでした。

点検日 2022年10月25日 13時10分 火曜日 天候 くもり 湿度 52% 気温 18℃

受電状況	電圧 (kV)	第1受 1(R)	V	2(S)	V	3(T)	V			1
		"	V	"	V	"	V			2
	電流 (A)	第1受 "	A	"	A	"	A	力率 %	kw	3
		"	A	"	A	"	A	力率 %	kw	4
	× 倍	kwh kwh		kvarh kw		月 日 力率 %		kwh kvarh		5

負荷状況	種	kVA	V-1(R)	V-2(S)	V-3(T)	A-1(R)	A-2(S)	A-3(T)	負荷%	温度	漏れmA		
	M	3φ×20	204	204	204 V 6	50A以下		A	0	12	2/25	9	18
		φ				V 7			A	13			19
		φ				V 8			A	14			20
	L	1φ×20	102	102	204 V 9	100A以下		A	0	15	18/20	1	21
		φ				V 10			A	16			22
		φ				V 11			A	17			23
	SC 3φ×1		(高圧)		V			A		15			

要点検所	(受電設備) キュービクル・電気室	掘削・接地・ケーブル・固定	32	接続・変色・過熱状況(ナシ)	41	
	支持物・支線・碍子・架線	24	操作・PL・AV計・表示	33	仮設・ELB・盤・線・巡視	42
	電線・ケーブル・接近・柱上	25	構内柱・交通障害・さび	34	(負荷設備)増・減・変	43
	PAS・PGS	26	屋側・接近・表示・他	35		44
	LBS・DS・OCB・OS・VCB	27	変圧器油量()ℓ・PCB	36	電動機・接地・手元開閉機・SC	45
	母線・硝子類・接続	28	(配電設備)増・減・変	37	照明設備・SW・コンセント	46
	変圧器・SC・OS・PC・PF	29	支持物・支線・ケーブル・架線	38	配線・器具・屋外・接地	47
	CT・PT・ZCT・OVGR	30	配電盤・ELB・KS・MCB	39	電熱・高周波装置・溶接機	48
	LA・PC・縁廻り・碍子	31	ELB押釦テスト×	40	警報・誘導灯・消火器・消火栓	49

記事	HGR動作—有・無 電源()V・P+・釦動作(良・否) Tap(A・ S・Vo %)異常(有・無)
	LGR(灯 A・力 A)・有(回数—灯 回・力 回)・調査(有・無)・押釦テスト()・異常(有・無)
	OCR— A/5A・動作—有・無 タップ A・ s・瞬時動作—有・無 タップ A(良・否)
	低圧設備状況—良・否() 高圧設備状況—良・否() 定期点検 月 日 済・予定
	重点項目 引込口状況—良・否()・Hケーブル漏状況 / mA
	月項目・他— Hケーブル漏状況 / mA
	漏電状況 異常—無・上記の通り・有—漏電調査(測定値 A・不良内容—ナシ)
	電気室等—異音(有・無)・換気扇(35℃)・温度状況(良・否)・小動物侵入(良・否)・他(ナシ)
	太陽光発電—モジュール(表面良・破損・汚れ・他—)・パワコン(良・否)架台(錆・破損)配線(良・否)
	発電量 V A・ A・ A・ kW・ OVGR— %・ S(良・否)
ディーゼル発電—燃料(有・ %)・オイル(有・無)冷却水(有・無)・異音(有・無)・ベルト(良・否)	
排煙(白・黒)・バッテリー(度)・変形・端子—(良・否)・始動(良・否)・自動戻(良・否)・水漏れ(有・無)	
rpm ・ MCB—入・ Hr ・ Hz ・ V ・ V・他:	

※鍵—閉・返却 ・ 配布物(ナシ) ・ 1ヶ月状況異常(無・有)

○連絡事項—無・有

他: ナシ